fiery Spark

Fiery Spark Professional
PS ソフトリップ PRO

v2.5

設 定 管 理 ガ イ ド

LP-8800C 対応

fiery

Copyright 2004 年 Electronics for Imaging, Inc.
All rights reserved.

本書は著作権により保護されており、著作権に関わる全ての権利が留保されています。Electronics for Imaging, Inc. の書面による承諾がない場合は、本書で許可が明示してある場合を除き、目的、手段を問わず本書のいかなる部分も、その複写や伝達を禁じます。本書の内容は予告なしに変更することがあります。また、Electronics for Imaging, Inc. はその内容についての責任を表明するものではありません。

本書で説明するソフトウェアは使用許可にもとづいて提供され、使用許可条件件に従って使用または複製する場合に限り許可されるものとします。

Patents: 4,917,488, 4,941,038, 5,109,241, 5,150,454, 5,150,454, 5,170,182, 5,212,546, 5,278,599, 5,335,040, 5,343,311, 5,424,754, 5,467,446, 5,506,946, 5,517,334, 5,537,516, 5,543,940, 5,553,200, 5,565,960, 5,615,314, 5,619,624, 5,625,712, 5,640,228, 5,666,436, 5,760,913, 5,818,645, 5,835,788, 5,866,856, 5,867,179, 5,959,867, 5,970,174, 5,995,724, 6,002,795, 6,025,922, 6,041,200, 6,046,420, 6,065,041, 6,067,080, 6,112,665, 6,116,707, 6,118,205, 6,122,407, 6,134,018, 6,141,120, 6,151,014, 6,166,821, 6,184,873, 6,185,335, 6,201,614, 6,215,562, 6,219,659, 6,222,641, 6,224,048, 6,225,974, 6,226,419, 6,239,895, 6,256,108, 6,265,676, 6,266,051, 6,269,190, 6,289,122, 6,292,177, 6,292,270, 6,300,580, 6,310,697, 6,323,893, 6,326,565, 6,327,047, 6,327,050, 6,327,052, 6,330,071, 6,331,899, 6,335,723, 6,340,975, 6,341,017, 6,341,018, 6,341,307, 6,348,978, 6,356,359, 6,369,895, 6,373,003, 6,381,036, 6,400,443, 6,414,673, 6,424,340, 6,429,949, 6,449,393, 6,456,280, 6,476,927, 6,490,696, 6,501,461, 6,501,565, 6,519,053, D341,131, D406,117, D416,550, D417,864, D419,185, D426,206, D430,206, D439,851, D444,793, RE33,973, RE36,947

商標

Bestcolor、ColorWise、EDOX、EFI、Fiery、Fiery ロゴ、Fiery Driven、Rip-While-Print、Spot-On は、米国特許商標庁および / またはその他諸国における Electronics for Imaging, Inc. の登録商標です。

AutoCal、AutoGray、Best、Best ロゴ、Changing the Way the World Prints、ColorCal、Command WorkStation、Device IQ、DocBuilder、DocBuilder Pro、DocStream、EFI ロゴ、EFICOLOR、EFI Color Profiler、EFI Production System、EFI ScanBuilder、Everywhere You Go、Fiery Driven ロゴ、Fiery X2、Fiery X2e、Fiery X2-W、Fiery X3e、FieryX4、Fiery ZX、Fiery Z4、Fiery Z5、Fiery Z9、Fiery Z16、Fiery Z18、Fiery Document WorkStation、Fiery Downloader、Fiery Driver、Fiery FreeForm、Fiery Link、Fiery Prints、Fiery Print Calibrator、Fiery Production System、Fiery Scan、Fiery ScanBuilder、Fiery Spark、Fiery Spooler、Fiery WebInstaller、Fiery WebScan、FieryWebSpooler、Fiery WebStatus、Fiery WebTools、Intelligent Device management ロゴ、Memory Multiplier、NetWise、PrintMe、PrintMe ロゴ、PrintMe Enterprise、PrintMe Networks、RIPChips、ScanBuilder、Splash、Splash ロゴ、Unimobile、Unimobile ロゴ、Velocity、Velocity Balance、Velocity Build、Velocity Design、Velocity Estimate、Velocity Exchange、Velocity OneFlow、Velocity OneFlow ロゴ、Velocity Scan、VisualCal は、Electronics for Imaging, Inc. の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、PostScript、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker は Adobe Systems Incorporated の商標であり、一部管轄地域では登録されています。Apple、Apple ロゴ、AppleShare、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Macintosh は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国およびその他諸国における Microsoft の登録商標です。その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である場合があり、本書により承諾されています。

法律上の注意

ソフトウェアまたはユーザマニュアルに表示される PANTONE® カラーは、Pantone, Inc (以下 Pantone 社) が定義するカラーと一致しないことがあります。正確なカラーを確認するには、最新の PANTONE カラー出版物を参照してください。PANTONE® およびその他 Pantone 社の商標は Pantone 社の所有物です。 ©Pantone, Inc.,2003

Pantone 社は、Electronics for Imaging, Inc. の製品またはソフトウェアと併用する場合のみ Electronics for Imaging, Inc. に認可するカラーデータおよび / またはソフトウェアの著作権所有者です。Electronicsfor Imaging, Inc. の製品またはソフトウェアを配付する場合を除いて、PANTONE カラーデータおよび / またはソフトウェアを他のディスクまたはメモリにコピーすることは禁止されています。

本製品には、Apache Software Foundation (http://www.apache.org/) により開発されたソフトウェアが組み込まれています。

限定権利条項（米国においてのみ適用）

防衛機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 252.227.7013 の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項 (c) (1) (ii) に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 52.227-19 の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項 (a) から (d) に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関する Electronics for Imaging, Inc. の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

アメリカ合衆国印刷
再生紙印刷

Part Number：45040544

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下の使用許諾契約をお読みください。本ソフトウェアをご使用になった場合は、本使用許諾のすべての条項に従うべき義務を負うことになります。これらの条項の受諾あるいは同意ができない場合は、10 日以内にお買上げ販売店に本製品とその全同梱物を返却して全額払戻しを受けることができます。

Electronics for Imaging, Inc. は、お買上げいただいた Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO（以下 Fiery Spark Pro）に同梱されている Adobe Systems Incorporated の PostScript® ソフトウェアなどのソフトウェアおよび付属の文書（以上まとめて「ソフトウェア」という）について、以下の条項に基づいて非独占的、譲渡不可の使用を認めます。

以下の内容がお客様に認められています。

a. 本ソフトウェアは、お客様自身の日常業務のため、並びに Fiery Spark Pro においてのみ使用できます。

b. お客様自身の日常業務においてのみ、EFI Fiery® に同梱の特別なコードフォーマット（以下「コード化フォントプログラム」という）によりデジタルコード化された機械語によるアウトラインプログラムとビットマッププログラム（以下「フォントプログラム」という）を使用して、文字、数字、記号（以下「書体」という）の設計、書体、ウェイト、バージョンを再生表示できます。

c. ソフトウェアから再生されるコード化フォントプログラムと書体を表示するために、Electronics for Imaging, Inc. の商標（以下「商標」という）を使用できます。

d. 承継人が本使用許諾の全ての条項に従うことに合意するかぎり、本使用許諾に基づくお客様の Fiery Spark Pro に関する全権利を承継人に譲渡することができます。

以下の内容はお客様には認められていません。

a. プリント解像度 600 dpi 以上で直接または間接的なあらゆるコピーの作成をするため、あるいは Fiery Spark Pro 以外で使用するためにフォントや書体を生成する目的でソフトウェアを利用すること。

b. お買上げいただいた Fiery Spark Pro ユニットの使用に必要な場合を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書、あるいはそれらの一部の直接または間接的なあらゆるコピーを作成すること、あるいはそれを許可すること。ただし、Fiery Spark Pro のハードディスクドライブに組み込まれたソフトウェアの特定箇所については、全体一部を問わず、直接または間接的なあらゆるコピーの作成を行うこと、あるいはそれを許可することはいかなる場合も認められません。その文書のコピーを作成することも認められません。

c. ソフトウェア、コード化フォントプログラム、あるいは付属の文書を変更、逆アセンブル、解読、あるいはリバースエンジニアリングすること。

d. ソフトウェアをレンタル、あるいはリースすること。

所有権

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書については、Electronics for Imaging, Inc. とその供給元が持つものとし権利やその他知的所有権は Electronics for Imaging, Inc. とその供給元が保有します。上記で認められた権利を除いて、本使用許諾ではソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書に関する特許権、著作権、営業秘密、（登録、未登録を問わず）商標、その他権利、フランチャイズ、ライセンスを認めません。Electronics for Imaging, Inc. あるいはその供給元の商標や商号と類似した、あるいは混同を生じさせるような商標や商号を創作したり使用すること、あるいは Electronics for Imaging, Inc. やその供給元の商標権を損なうような行為をすることを禁じます。商標はコード化フォントプログラムのプリント出力を識別する目的にだけ使用できます。Electronics for Imaging, Inc. から妥当と考えられる要求があった場合、お客様は商標で識別された書体の見本を提供するものとします。

守秘義務

お客様は、ソフトウェアとコード化フォントプログラムの秘密を守り、ソフトウェアとコード化フォントプログラムを使用する必要があると本使用許諾で認められたお客様だけにソフトウェアとコード化フォントプログラムを開示するものとします。またお客様は第三者に対する開示を防ぐため、妥当と考えられる全ての予防措置を講ずるものとします。

救償

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書を許可なしで使用、コピー、開示すると、本使用許可は自動的に中止され、Electronics for Imaging, Inc. に対しては他の法律上の救済が適用可能となります。

限定保証

本ソフトウェアがお客様に頒布されてから 90 日間は、通常の使用形態の下では本ソフトウェアは使用不可能になるほどの致命的な異常なしに動作することを Electronics for Imaging, Inc. は保証します。この保証の下で Electronics for Imaging, Inc. の責任およびお客様に対する救済を行使するため（お客様が Fiery Spark Pro を Electronics for Imaging, Inc. または Electronics for Imaging, Inc. の正規の代理店に返却することを前提として）Electronics for Imaging, Inc. の選択により、異常を回復しまたは正常化を目指して妥当と考えられる商業的努力を尽くすか、本ソフトウェアを同等の機能を有するソフトウェアと交換するか、あるいはお客様が製品に支払った代価を払い戻し本使用許諾を中止させます。米国の州によっては黙示的保証の期間に関する限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されません。

上記の明示的限定保証を除き、製品について明示的、黙示的、あるいは法令にもとづく保証または条件をも Electronics for Imaging, Inc. は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。

保証サービスについては正規のサービス店またはサポートセンターにお問い合わせください。

上記の明示的限定保証を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラムについて、明示的、黙示的、法令または本使用許諾によって定められたいかなる条項、あるいはお客様との話し合いにもとづく保証または条件をも Electronics for Imaging, Inc. は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。Electronics for Imaging, Inc. はソフトウェアが停止せずに動作すること、異常が存在しないこと、あるいはソフトウェアがお客様の特定の要件に適合することについては、これを保証しません。

限定責任

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書の使用によって引き起こされるデータ損失、利益損失、回復費用、その他特別な、付随的、結果的、あるいは間接的損害をはじめとするあらゆる損害について、それがどのような事由によって引き起こされたものであり、あるいはどのような事由に基づいていようと Electronics for Imaging, Inc. または その供給元は責任を負いません。この限定条項は Electronics for Imaging, Inc. やすべての正規販売店が、そのような損害の可能性を知らされていた場合にも適用されます。Fiery Spark Pro の価格はこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。但し、米国の州や司法管轄区域によっては結果的、あるいは付随的責任の適用除外や限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されないことがあります。

輸出管理

お客様はいかなる形態であれ、アメリカ合衆国と当該国政府の許可なしにソフトウェアやコード化フォントプログラムを輸出、再輸出しないことに同意するものとします。本条項に従わない場合は、本使用許諾の実質的な違反となります。

政府による使用

アメリカ合衆国政府による使用、複製、開示は、FAR12.212 あるいは DFARS 227.7202-3-227.7202-4 に定める限定内容、および米国連邦法に必要とされる範囲において FAR 52.227-14、限定付権利 (June 1987) Alternate III(g)(3)(June 1987) または FAR 52.227-19 (June 1987) に定める最低限の限定権利に従うことを条件とします。本使用許諾に従って提供される技術データの範囲において、技術データは FAR 12.211 および DFARS 227.7102-2 によって保護されており、またアメリカ合衆国政府によって明確に必要とされる範囲で、技術データは DFARS 252.227.7015 (November 1995) および DFARS 252.227-7037 (September 1999) に定める限定権利に従うことを条件とします。前述の規定が修正または優先される場合、それと同等の規定が適用されるものとします。契約者名は Electronics for Imaging, Inc. です。

第三者受益者

カリフォルニア法人 Adobe Systems Incorporated（以下 Adobe 社）（住所：345 Park Avenue, San Jose, California 94110-2704）は、本使用許諾によって使用許諾が得られるフォント、コード化フォントプログラム、書体、商標などのユーザ使用に関して本使用許諾に規定される条項の範囲で、本使用許諾における第三者受益者であることをここに通知します。以上の条項は Adobe 社の利益のために明示的に設定されたものであり、Electronics for Imaging, Inc. に加え Adobe 社がこれを行使することができます。

一般条項

本使用許諾はカリフォルニア州法に準拠します。

本使用許諾はお客様と Electronics for Imaging, Inc. との全面的合意を表したものであり、本ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書に関するその他の通知や広告に代わるものとします。

本使用許諾の一部の条項が無効になった場合でも、本使用許諾のそれ以外の部分は効力を有します。

お問い合わせの場合は、下記の住所まで書面にてご連絡ください。

Electronics for Imaging
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404

目次

はじめに

本書では、コンピュータネットワーク上で Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を使用する場合のネットワーク構築方法について説明します。本書や『ユーザソフトウェアインストールガイド』の記述に従って Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO およびクライアントワークステーションを設定すると、ネットワーク上の個々のユーザが Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を高速カラー PostScript プリンタとして使用できるようになります。

本書では以後、Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を Fiery Spark Pro と表記します。

Fiery Spark Pro のシステムソフトウェアは Windows XP コンピュータでのみ動作します。本書では以後、Fiery Spark Pro をインストールした Windows XP コンピュータのことを Fiery Spark Pro サーバと表記します。

Fiery Spark Pro は LP-8800C をサポートします。本書内の「プリンタ」は LP-8800C を意味します。

注意： １台の Fiery Spark Pro サーバからは、１台のプリンタのみに接続可能です。複数のプリンタを使用する場合、使用するプリンタの台数にあわせて Fiery Spark Pro を購入してください。

Fiery Spark Pro に送られた印刷ジョブは、Command WorkStation および Fiery Spooler/Fiery WebTools を使用して管理できます。Command WorkStation および Fiery Spooler/Fiery WebTools は、Fiery Spark Pro サーバ上からだけでなく、リモートワークステーションから実行することもできます。本機の取扱説明書では、リモートワークステーションからユーザが送信した印刷ジョブを管理するためのオペレータが存在することを前提とします。

本書について

本書では次の事項について説明します。

- AppleTalk、TCP/IP ネットワークを介して印刷するための Fiery Spark Pro の基本的な設定
- Fiery Spark Pro への印刷を可能にするために必要な UNIX システムおよび Windows サーバの構築
- ネットワーク印刷に関する管理
- 混合ネットワーク環境下での Fiery Spark Pro の使用方法

注意： 本書の説明は熟練ネットワークエンジニアのサービスを代替するものではありません。

本書の構成は次の通りです。

- 第 1 章では、Fiery Spark Pro がサポートしているネットワーク形態を図示します。
- 第 2 章では、Fiery Spark Pro の各コンポーネントについて説明します。
- 第 3 章では、セキュリティレベルの決定方法について説明します。
- 第 4 章では、Fiery Spark Pro サーバ設定について説明します。
- 第 5 章では、Fiery Spark Pro への印刷に必要な Windows ネットワークサーバおよび UNIX システム構築方法について説明します。
- 第 6 章では、Fiery Spark Pro ソフトウェアの管理機能について概要を紹介します。またトラブルシューティングについても言及します。

注意： 管理機能に関する詳細は、『ジョブ管理ガイド』、および本書の 6-1 頁を参照してください。

本書で使用する表記規則

- Fiery Spark Pro の取扱説明書名は『』内に表示されます。
- Fiery Spark Pro「設定」とは Fiery Spark Pro のコントロールパネルおよび上での設定を意味します。
- サブフォルダの表記方法

  Windows

  たとえば「Folder1」フォルダ内の「Folder2」フォルダ内の「Application」フォルダ内にある「Setup.exe」アイコンをダブルクリックする場合、

  「\Folder1\Folder2\Application」フォルダ内の 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。

  と表記します。

  Mac OS

  たとえば「フォルダ 1」フォルダ内の「フォルダ 2」フォルダ内の「フォルダ 3」フォルダを開く場合、

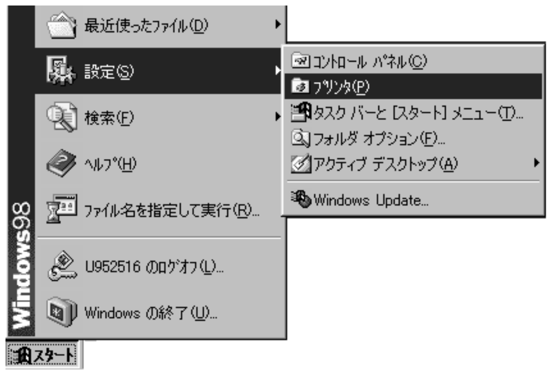
  「 フォルダ 1: フォルダ 2: フォルダ 3 」フォルダを開きます。

  と表記します。
- サブ画面の表記方法

  たとえば Windows 98/Me の「スタート」ボタンをクリックして「設定」の「プリンタ」を選ぶ場合、

Windows 98/Me の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選びます。

と表記します。



- タブ画面の表記方法

たとえば、次の画面で、「メニュー 1」を選んで、「タブ 3」のタブを選ぶ場合、

「メニュー 1：タブ 3」を選びます。

と表記します。



第 1 章：
ネットワークへの接続

本章では Fiery Spark Pro「設定」に必要な作業を段階ごとにまとめています。またネットワーク環境ごとに作業概要を示す図を記載し、そこにインストール作業を行う際に参照すべき章や頁あるいは他の説明書名を注記しています。これらの注記場所を参照すると、必要な情報を素早く入手できます。

ネットワーク上での Fiery Spark Pro

Fiery Spark Pro を Windows XP 対応コンピュータにインストールしてネットワークに接続すると、ネットワーク用 PostScript プリンタとして動作します。Fiery Spark Pro は、次のネットワークプロトコルをサポートします。

- AppleTalk
- TCP/IP（lpd、nbt、および http プロトコル）

  TCP/IP は Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略称です。lpd は、TCP/IP 用標準印刷プロトコルです。nbt は、Windows（SMB）印刷をサポートするプロトコルです。http は、インターネットやイントラネットの Web ページで標準的に使用されるプロトコルです。

これらのプロトコル（ネットワーク上のコンピュータが互いに通信するための規則を集めたもの）は、Mac OS、Windows、および UNIX プラットフォームでサポートされ、同一イーサネットワーク上で同時に稼働可能です。これら以外のプロトコルを使用するワークステーションはこれらのプロトコルのうちいずれかを使用しているサーバを経由して Fiery Spark Pro に印刷が可能です。本書では、すでにネットワーク用ケーブルシステムが布設され、ワークステーションやサーバが接続されているものと仮定して、Fiery Spark Pro をネットワークに追加する方法を説明します。

ネットワーク上でのインストール作業

インストール作業は、印刷管理者またはネットワーク管理者が行ってください。Fiery Spark Pro をネットワークにインストールするためには下記の作業が必要です。

- ネットワーク構築

  ネットワークサーバが存在する場合は、使用環境にあわせて Fiery Spark Pro サーバとなる Windows XP コンピュータをネットワークに追加し、サーバを構築します。Fiery Spark Pro をインストールする Windows XP 対応コンピュータがすでにネットワークに接続されている場合、サーバ構築の必要はありません。

  ネットワークサーバが存在しない場合は、使用環境に合わせてプリンタの共有設定等を行います。

  Fiery Spark Pro を UNIX 環境で使用する場合、UNIX サーバを適切に設定する必要があります。

  ネットワーク構築については、第 5 章を参照してください。

- Fiery Spark Pro システムソフトウェアのインストール

  ネットワークに接続された Windows XP 対応コンピュータに Fiery Spark Pro システムソフトウェアをインストールします。 詳細は『Fiery Spark PRO インストールガイド』を参照してください。

- Fiery Spark Pro 設定

  特定の印刷環境やネットワーク環境用に Fiery Spark Pro を設定します。詳細は第 4 章を参照してください。

- クライアント設定

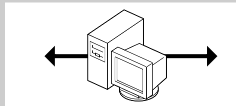
  印刷に必要なファイルやユーザソフトウェアなどのインストール作業や、クライアントをネットワークに接続する作業が含まれます。詳細は『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

- システム管理

  システムパフォーマンスの監視や維持およびトラブルシューティングなどが含まれます。詳細は第 6 章並びに『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

Fiery Spark Pro ネットワークインストール作業概要

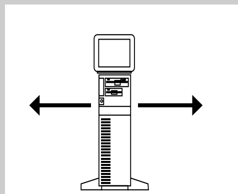
Windows XP コンピュータの準備



Fiery Spark Pro を使用する Windows XP コンピュータをネットワークに接続。

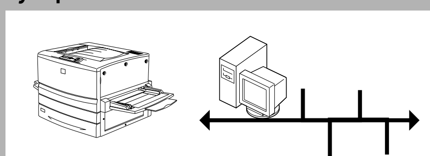
サーバ構築

ネットワークサーバ



必要に応じて、UNIX、Windows サーバを構築し、Fiery Spark Pro として使用する Windows XP コンピュータをネットワークに追加（第 5 章参照）。
Windows ピアツーピアネットワークの場合、各クライアントで SMB 印刷設定（5-6 頁参照）。

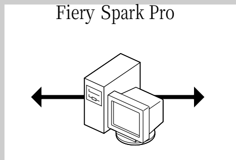
Fiery Spark Pro インストール



- ネットワーク接続済みの Windows XP コンピュータに Fiery Spark Pro システムソフトウェアをインストール（『Fiery Spark PRO インストールガイド』参照）。
- Fiery Spark Pro サーバをプリンタに接続。

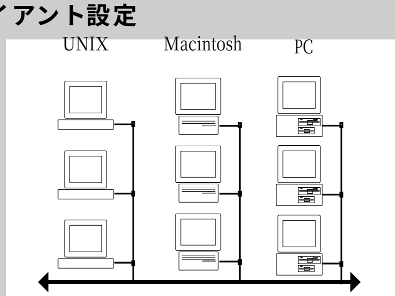
Fiery Spark Pro「設定」

Fiery Spark Pro



Fiery Spark Pro の「Fiery サーバ設定」ダイアログボックスで、「一般設定」、「プリンタ設定」、「ジョブ設定」を実行。

クライアント設定



Fiery Spark Pro 使用の各ワークステーション上で：

- PostScript プリンタドライバとプリンタ記述ファイル（PPD）をインストールし、キューに接続。
- Fiery ユーティリティとサポートされているインターネットブラウザをインストール。
- Fiery Spark Pro がプリンタ一覧に表示される事を確認し、テスト印刷。

ネットワーク上で Fiery Spark Pro が使用可能

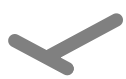
効率的なインストール

次頁以降に、Fiery Spark Pro 印刷や Fiery ユーティリティ使用にあたって最も一般的なシステム形態を図示します。使用するネットワークやプラットフォームに応じた図を見つけ、その図に示されている設定手順と作業参照頁に従って処理を行ってください。

これらの図では、サポートされているネットワークプロトコルを使用するデバイスを示しています。ネットワーク上のデバイスの論理関係を示したもので、物理的な配線を意味しているわけではありません。各論理関係に対応して複数の物理的な配線が可能です。たとえば、ツイストペアイーサネットネットワークは、通常バス型ではなく、ハブの回りにスター型に配線されます。物理的な配線設計はこのガイドの範囲外です。

ネットワークが複数のプロトコルや複数タイプのワークステーションを使用する場合は、該当するプロトコルやクライアントの説明を各々参照し組み合わせてください。（図の中で平行した線で示されている）複数のプロトコルは同一ケーブル上を走ることに注意してください。

これらの図では、各プロトコルは次の線で示されます。

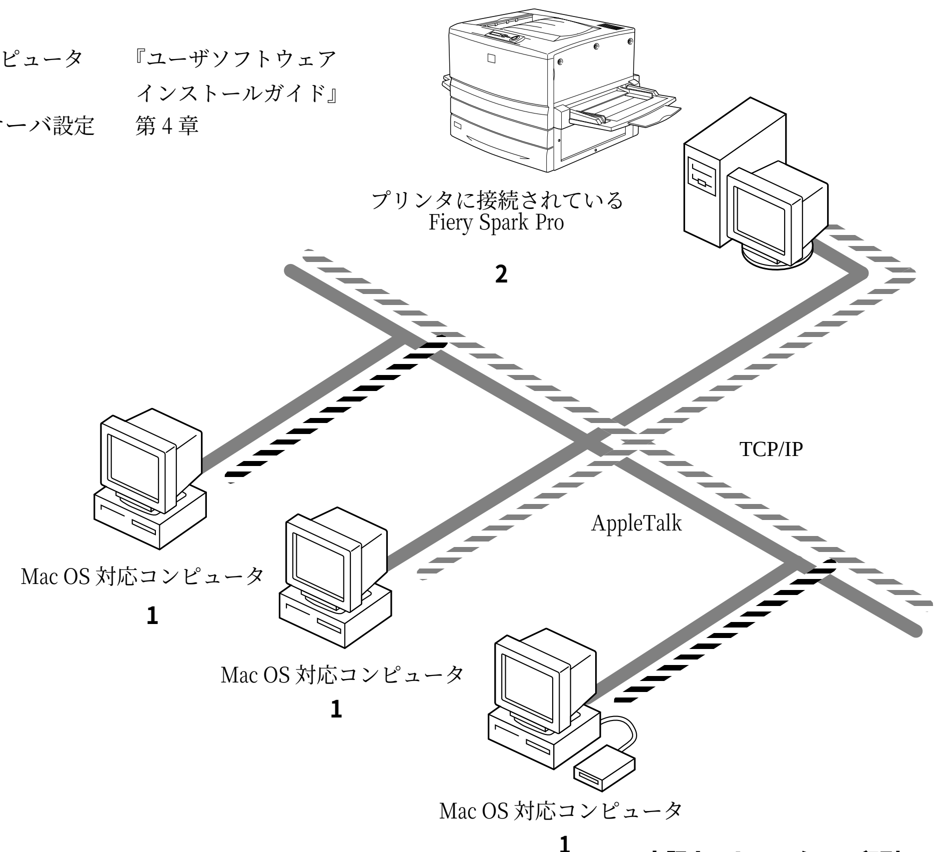
AppleTalk 

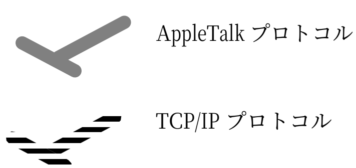
TCP/IP（lpd、nbt、or http） 

AppleTalk ネットワーク、Mac OS 対応コンピュータ

設定項目

1	Mac OS 対応コンピュータ	『ユーザソフトウェアインストールガイド』
2	Fiery Spark Pro サーバ設定	第 4 章





上記ネットワークでの印刷

Mac OS 対応コンピュータでは、AppleTalk、TCP/IP を使用して Fiery Spark Pro に直接プリントジョブが送信可能。

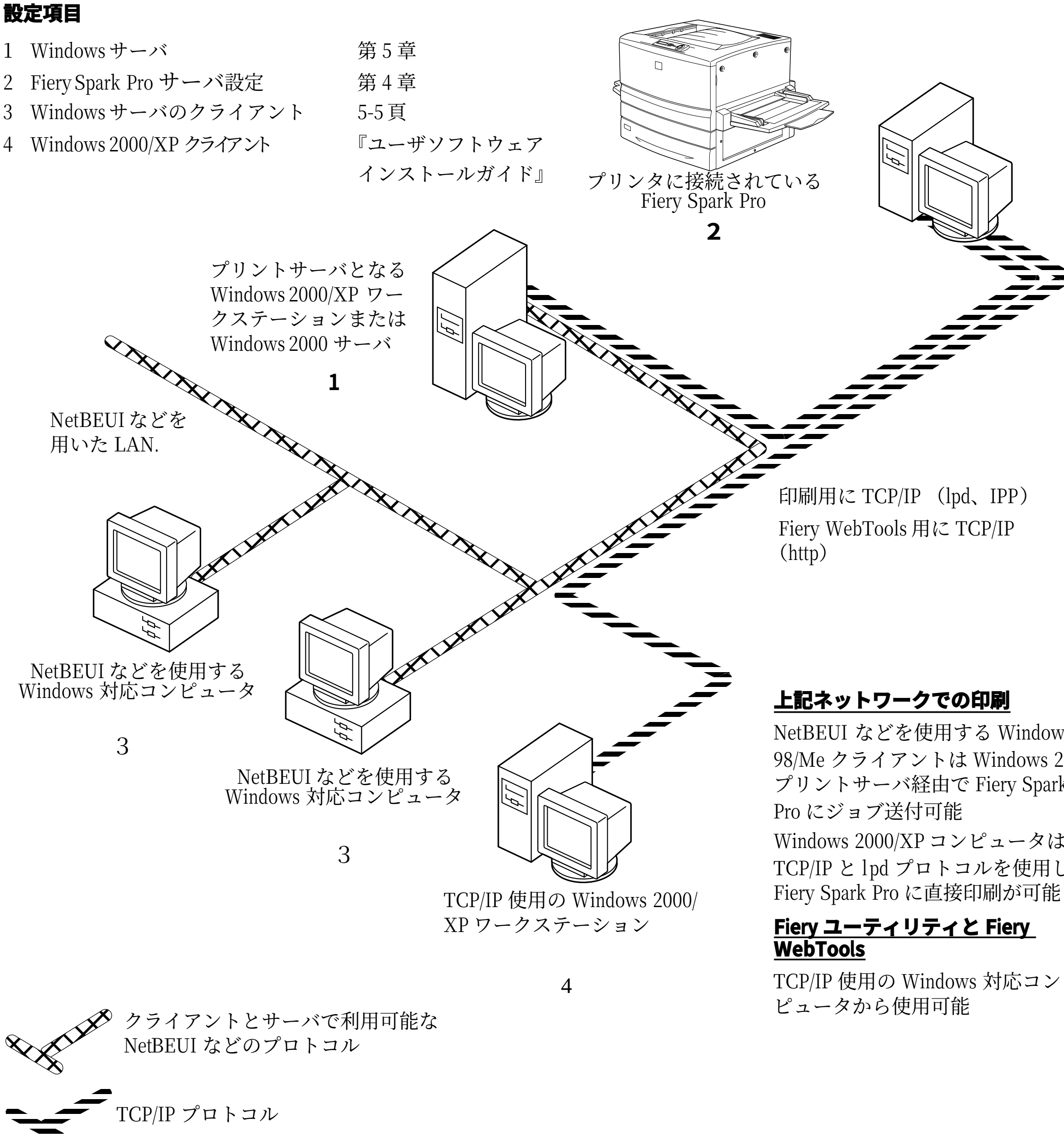
Fiery ユーティリティおよび Fiery WebTools

Fiery Downloader は、ApplleTalk で使用可能。その他のユーティリティ、Fiery WebTools および Hot Folder の使用には、TCP/IP が必要。

Windows サーバ環境

設定項目

1	Windows サーバ	第 5 章
2	Fiery Spark Pro サーバ設定	第 4 章
3	Windows サーバのクライアント	5-5 頁
4	Windows 2000/XP クライアント	『ユーザソフトウェア インストールガイド』



上記ネットワークでの印刷

NetBEUI などを使用する Windows 98/Me クライアントは Windows 2000 プリントサーバ経由で Fiery Spark Pro にジョブ送付可能

Windows 2000/XP コンピュータは TCP/IP と lpd プロトコルを使用して Fiery Spark Pro に直接印刷が可能

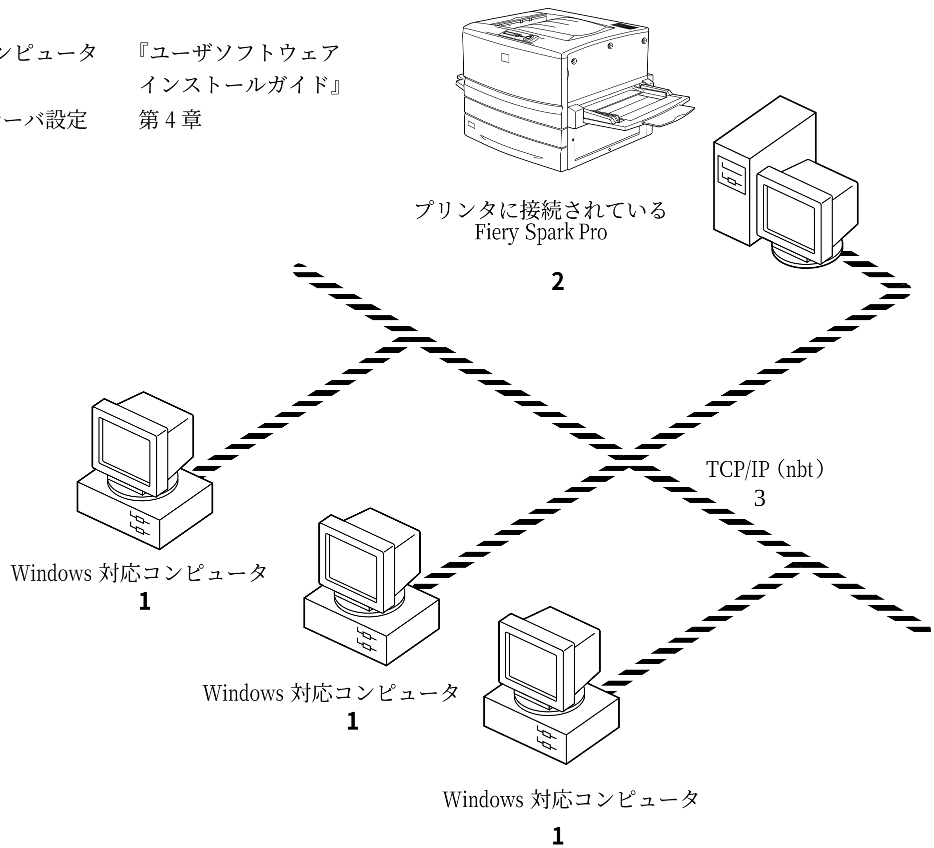
Fiery ユーティリティと Fiery WebTools

TCP/IP 使用の Windows 対応コンピュータから使用可能

Windows 対応コンピュータでの Windows（SMB）印刷

設定項目

1	Windows 対応コンピュータ	『ユーザソフトウェアインストールガイド』
2	Fiery Spark Pro サーバ設定	第 4 章



Windows（SMB）印刷

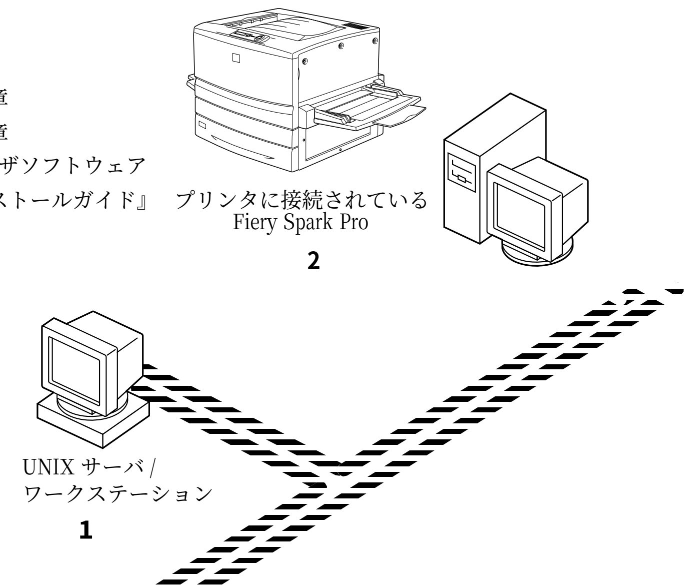
Windows 対応コンピュータで印刷可能

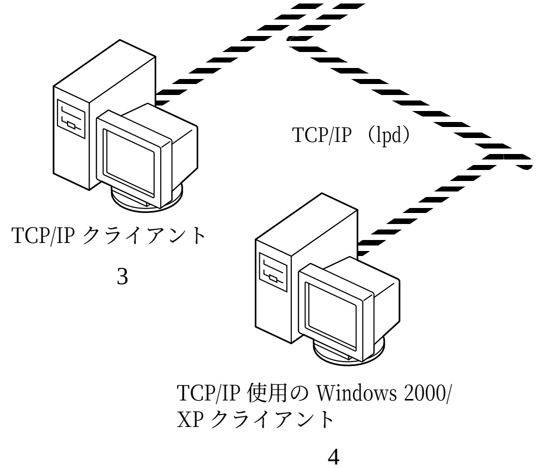
TCP/IP（nbt）プロトコル

TCP/IP ネットワーク上の UNIX ワークステーションと Windows 2000/XP コンピュータ

設定項目

1 UNIX サーバ	5-8 頁
2 Fiery Spark Pro サーバ設定	第 4 章
3 TCP/IP クライアント	第 5 章
4 Windows 2000/XP クライアント	『ユーザソフトウェアインストールガイド』





上記ネットワークでの印刷

lpd プロトコルが使用可能な UNIX ワークステーションは直接 Fiery Spark Pro 印刷が可能、またプリンタ共有時にはホストとして作動

TCP/IP クライアントは lpr コマンドを使用して直接または UNIX サーバを介して印刷可能。この場合は、TCP/IP および lpr プリントサービスが必要

TCP/IP 使用の Windows 2000/XP クライアントからは、PS プリンタドライバと Fiery Spark Pro 用 PPD ファイルを使用した印刷が可能

Fiery ユーティリティおよび Fiery WebTools

TCP/IP 使用の Windows 2000/XP 対応コンピュータで使用可能


TCP/IP プロトコル

第 2 章：
Fiery Spark Pro システムソフトウェア

Fiery Spark コンポーネント

Fiery Spark は、Fiery RIP Engine、Fiery バーで構成されます。

Fiery RIP Engine

Fiery RIP Engine は、クライアントから受信した印刷ジョブを処理するソフトウェアです。Fiery RIP Engine が起動していないと、クライアントから送信された印刷ジョブは印刷処理されません。



Fiery RIP Engine が起動すると、Fiery Spark サーバの画面には、Fiery バーが表示されます。Fiery RIP Engine は、Command WorkStation を起動したときにも自動的に起動します。

注意： Fiery Spark Pro の起動には、USB ハードウェアキーが必要です。Fiery Spark Pro は起動時にハードウェアキーが装着してあることを確認し、動作中にも不定期に確認します。ハードウェアキーが外された場合、出力されるジョブには Fiery Spark Pro がデモバージョンであることを示すウォーターマークが印刷されます。

Fiery バー

Fiery バーには、Fiery Spark Pro のジョブ処理状況が表示されます。また、ジョブのキャンセル、Command WorkStation/ColorWise Pro Tools の起動、Fiery Spark サーバ設定、Fiery Spark の初期化および終了の各機能があります。これらの機能の多くは Command WorkStation でもサポートされていますが、Command WorkStation が実行していないときでも、Fiery バーからこれらの機能を実行できます。

Fiery バーは、次の構成要素からなります。

- **RIP 中エリア** — ここには、RIP 中のジョブ名が表示されます。また、RIP 中のジョブをプレビュー表示できます。プレビューでは、用紙内でのイメージの印刷位置を確認できます。また、リップ状況も表示されます。
- **印刷中エリア** — ここでは、印刷中のジョブ名が表示されます。また、印刷中のジョブをプレビュー表示できます。このプレビューでは、ジョブがどこまで印刷されたかおよその状態を確認できます。
- **メッセージエリア** — エラーメッセージおよびその他の Fiery Spark Pro サーバ情報を表示します。
- **作動ランプ** — Fieryバー右端の作動ランプは、Fiery Spark Proサーバの作動状況を表示します。次の表を参照してください。

赤点灯	Fiery Spark Pro サーバに不具合が生じました。メッセージエリアでエラー内容を確認してください。

赤点滅	Fiery Spark Pro サーバがプレスキャン中、または Fiery Spark Pro サーバにエラー発生の状態です。RIP は継続可能です。
緑点灯	Fiery Spark Pro サーバは使用可能です。
緑点滅	Fiery Spark Pro サーバは起動準備中、ジョブの処理 / 印刷中、リモートワークステーションと通信中、または印刷準備中です。

- コマンド — Fieryバーの任意の場所、またはWindowsタスクバー右部のFiery アイコンを右クリックすることにより、次の機能を実行できます。

Command WorkStation	Command WorkStation を起動します。このコマンドは、Command WorkStation を Fiery Spark Pro サーバにインストールすると使用可能になります。Command WorkStation に関する詳細は、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。
ColorWise Pro Tools	ColorWise Pro Tools を起動します。このコマンドは、Command WorkStation を Fiery Spark Pro サーバにインストールすると使用可能になります。ColorWise Pro Tools を単体でインストールしても、使用可能にはなりません。ColorWise Pro Tools に関する詳細は、『カラーガイド』を参照してください。 **注意：**Command WorkStation をインストールすると、ColorWise Pro Tools も同時にインストールされます。
Fiery 設定	「Fiery サーバ設定」ダイアログボックスを開きます。
サーバの初期化	Fiery Spark Pro サーバハードディスク内のすべてのキュー内のジョブを削除します。サーバの初期化を行う前に、システム管理者またはオペレータの許可を得てください。このコマンドを選択すると、続行確認用の警告メッセージが表示されます。サーバを初期化し再起動する場合は、「OK」をクリックします。
RIP 取消し	Fiery Spark Pro サーバで RIP 中ジョブの RIP 処理を取消します。

印刷取消し	Fiery Spark Pro サーバで印刷中ジョブの印刷処理を取消します。
Fiery 終了	Fiery Spark Pro サーバのすべての作動を適切に終了します。
バージョン情報	Fiery Spark のバージョン情報を表示します。
Fiery バーを隠す	Fiery バーを非表示にします。Fiery バーを再表示するには、Windows タスクバー右部の Fiery アイコンを右クリックし、「Fiery バーを表示」を選択します。

第 3 章：
使用開始前に

Fiery Spark Pro の使用環境は各々異なりますが、Fiery Spark Pro システムは、使用要件や環境に合わせて柔軟性やコントロール性を増すように構築することが可能です。Fiery Spark Pro システムによるネットワークプリント環境を構築するにあたって、システム管理者は、ユーザがアクセス可能なネットワークやソフトウェアの使用レベルをあらかじめ決めておく必要があります。使用レベルは、プリント接続の開放やパスワードの設定によって決定できます。

インストールや設定を行う前に、Fiery Spark Pro で可能なアクセス方法やコントロール方法を理解し、環境に合った方法を決めてください。

コントロールおよびアクセスレベル

Fiery Spark Pro システムでは、3 段階のコントロール方法をとることが出来ます。システム管理者やオペレータがジョブフローや印刷をコントロールするような多量印刷環境下では最大制限つきのコントロールが必要です。この場合、ユーザから送られたジョブは Fiery Spark Pro のハードディスク上にスプールされ、オペレータがその印刷時期を決定します。また、システム管理者やオペレータのみが管理用のソフトウェアツールを使用できます。

ローカルネットワーク上のすべてのユーザがすべてのジョブやサーバ機能をコントロールできるような小規模な環境下では、コントロール上の制限は最小にすべきでしょう。この場合は、ある種の管理業務をシステム管理者やオペレータが行うとしても、全ユーザが等しくシステムやソフトウェアツールにアクセスできます。

Fiery Spark サーバ設定終了後、システム管理者はプリント接続、パスワードを使用可能（または使用不可能）にすることによりコントロールレベルを操作することができます。

パスワード

Fiery Spark Pro 機能へのアクセスをコントロールするためにパスワードを設定できます。Fiery Spark Pro では次のパスワードが用意されています。

- システム管理者
- オペレータ

注意： デフォルトでは Fiery Spark Pro にパスワードは設定されていません。パスワードが特に設定されていないと、Fiery Spark Pro サーバ設定（パスワード設定を含む)、ジョブコントロールなどの重要な機能に全ユーザがアクセスできることになります。Fiery Spark Pro サーバ設定を勝手に変えられることのないよう、システム管理者パスワードだけは設定しておくことを推奨します。

システム管理者用パスワード

システム管理者用パスワードには、最も高い権利が与えられており、Fiery Spark Pro サーバ設定へのアクセスや印刷やジョブ管理環境のコントロールができます。また、プリント接続の開放、パスワードの設定、フォントの削除、サーバの初期化（ジョブの消去）などが可能になります。

オペレータ用パスワード

オペレータコントロールには、Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler での印刷ジョブ管理（ジョブ設定の上書きを含む）が含まれます。

ゲスト （パスワード不要）

Command WorkStation、または Fiery WebSpooler /Fiery Spooler にゲストとしてログインする場合は、パスワードは必要ありません。ゲストは現行ジョブの状況を確認することはできますが、ジョブや Fiery Spark Pro の状況に変更を加えることはできません。

Fiery Spark Pro プリント接続

Fiery Spark Pro は 3 種類のプリント接続（待機キュー、印刷キュー、直接接続）をサポートしています。Fiery Spark Pro 印刷キューや直接接続を使用すると待機キューを使用するより、リモートユーザが自由に印刷できます。このためコントロールを厳しく制限したい場合は、これらの接続を使用可能にすべきではありません。

待機キュー

待機キューに送られたジョブは Fiery Spark Pro のハードディスクにスプールされます。これらのジョブの印刷処理は、Command WorkStation、または Fiery WebSpooler /Fiery Spooler（『ジョブ管理ガイド』参照）を使用して行います。

直接接続

直接接続では、Fiery Spark Pro が印刷可能時にのみ Fiery Spark Pro へジョブが直接送られます。Fiery Spark Pro が使用中の場合は、Fiery Spark Pro が使用可能になるまでジョブはワークステーション側に留まります。前のジョブの処理が終わり次第、印刷キュー内のジョブが処理される前に、このジョブは Fiery Spark Pro で処理されます。

直接接続に送られたジョブは Fiery Spark Pro のハードディスクには格納されませんし、Command WorkStation、または Fiery WebSpooler /Fiery Spooler のジョブ欄にも表示されません。このため直接接続は機密性の高いジョブを保護するのに適しています。直接接続に送られたジョブもジョブログ上に表示されます。

注意： 欧文フォント及び和文フォントのインストールには直接接続を使用する必要があります。Fiery Spark Pro にフォントをインストールする際は、直接接続を使用可能にしてください。

印刷キュー

印刷キューに送られたジョブは Fiery Spark Pro に到着した順に処理・印刷されます。ただし Command WorkStation や Fiery WebSpooler /Fiery Spooler でオペレータによって優先されたジョブや直接接続を介して送信されたジョブは印刷キュー内のジョブより先行して処理されます。

Fiery WebTools

Fiery Spark Pro では、インターネットやイントラネットを介して Windows 対応コンピュータおよびMac OS 対応コンピュータから Fiery WebTools が使用可能です。Fiery WebTools には、状況、WebSpooler、インストーラ、WebLink およびプリンタモニタが含まれています。

状況

状況ツールを使用すると現在の Fiery Spark Pro で処理中・印刷中のジョブ情報が表示されます。「状況」ツール使用時にパスワードは不要です。詳細は、『印刷ガイド』を参照してください。

WebSpooler

Fiery WebSpooler の使用により、スプール中、処理中、または印刷中のジョブをネットワーク上の一般ユーザが表示、操作（順序変更、再印刷、削除）できるようになります。また、システム管理者が DocBuilder ツール（サムネイル A と B）を使用したりジョブログを表示、印刷、または削除できるようになります。

WebSpoolerへのアクセスはオペレータ用またはシステム管理者用パスワードを設定することによりコントロールできます。パスワードを設定すると、パスワードを入力したユーザのみが WebSpooler でジョブを操作できるようになります。パスワードを入力しなくても WebSpooler にゲストとしてログインできますが、この場合は表示のみが可能です。詳細は『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

WebLink

WebLink は Fiery WebLink アドレスへリンクするときに使用します。WebLink アドレスは変更可能です。システム管理者用パスワードが設定されている場合は、この機能を使用するためにパスワードの入力が必要です。

注意： システム管理者用パスワードが設定されていないと、誰でも WebLink アドレスを変更することができます。このため、システム管理者用パスワードの設定を推奨します。

インストーラ

インストーラツールを使用すると、ユーザが Fiery Spark Pro からプリンタファイルを直接ダウンロードすることができます。Mac OS 9、Mac OS X、および Windows のプリンタドライバをインストールできます。

プリンタモニタ

プリンタモニタを使用すると、プリンタのトナーおよび用紙の残量が確認できます。詳細は、『印刷ガイド』を参照してください。

コントロールレベル概要

レベル１（最小制限）からレベル３（最大制限）までのコントロールレベル使用例を次に記載します。この中から使用環境に合ったレベルを選び、次頁の表でそのレベル番号に対応した Fiery Spark Pro 設定方法を参照してください。

注意： Fiery Spark Pro システム環境破壊を防止するために、最低限としてシステム管理者用パスワードの設定を推奨します。

1. **システム管理者およびオペレータなし**

   全ユーザが同等のアクセス権利を持ち、Fiery Spark Pro サーバ設定、サーバの初期化、WebLink アドレスの設定、キャリブレーション、Fiery Spark Pro の全プリント接続（印刷キュー、待機キュー、直接接続）への印刷、および Command WorkStation、WebSpooler からの全ジョブのコントロールが可能です。

2. **システム管理者あり、オペレータなし**

   システム管理者のみが、Fiery Spark Pro サーバ設定、ワークステーションからのキャリブレーションなどの管理機能を使用できますが、その他全機能ーFiery Spark Pro の全プリント接続（印刷キュー、待機キュー、直接接続）への印刷、および全ジョブ管理は一般ユーザ全員が実行可能です。

3. **システム管理者とオペレータあり**

   システム管理者のみが Fiery Spark Pro サーバ設定などの管理機能を使用でき、キャリブレーションを行えます。また、オペレータまたはシステム管理者のみがワークステーションからジョブ管理を行うことができます。一般ユーザは、Fiery Spark Pro の全プリント接続に印刷できます。

必要な設定	1 （最小制限）	2	3 （最大制限）
「Fiery Spark Pro サーバ設定」の「プリンタ設定」で「直接接続開放」を選択	○	○	○
「Fiery Spark Pro サーバ設定」の「プリンタ設定」で「印刷キュー開放」を選択	○	○	○
「Fiery Spark Pro サーバ設定」の「一般設定」で「システム管理者」用パスワードを設定（推奨）	—	○	○
「Fiery Spark Pro サーバ設定」の「一般設定」で「オペレータ」用パスワードを設定（推奨）	—	—	○

第 4 章：
Fiery Spark サーバ設定

Fiery Spark Pro は、様々な作業環境に適応できます。「Fiery Spark Pro サーバ設定」を使用すると、使用する環境に合わせて Fiery Spark Pro を設定できます。

Fiery Spark Pro サーバ設定について

Fiery Spark Pro 使用開始前には、「Fiery Spark Pro サーバ設定」で初回の設定を行ってください。設定がなければデフォルトが適用されます。デフォルト設定で、Fiery Spark Pro は「使用可能」状態になりますが、一般ユーザが必ずしも Fiery Spark Pro に印刷できるようになるとは限りません。各使用環境に適した設定を行ってください。

サーバ、プリンタの構成が変更になった場合は、いつでも変更内容に応じて設定を個々に変更することができます。同様に、印刷や管理の必要性に応じて、設定内容を変更することも可能です。

Fiery Spark Pro サーバ設定には下記の設定オプションが用意されています。

- 「一般設定」　Fiery Spark Pro システムオプション指定
- 「プリンタ接続」　Fiery Spark Pro 上の印刷ジョブやキューの管理方法を指定
- 「PS 設定」　PostScript オプション設定
- 「カラー設定」　カラー出力オプション設定

設定へのアクセス

「Fiery Spark Pro サーバ設定」を開始するには、次の 2 通りの方法があります。

- Fiery Spark Pro サーバのデスクトップで Fiery バーを右クリックし、「Fiery 設定」を選択する。
- Fiery Spark Pro サーバのタスクバーで Fiery アイコンを右クリックし、「Fiery 設定」を選択する。

次の「Fiery サーバ設定」画面が表示されます。

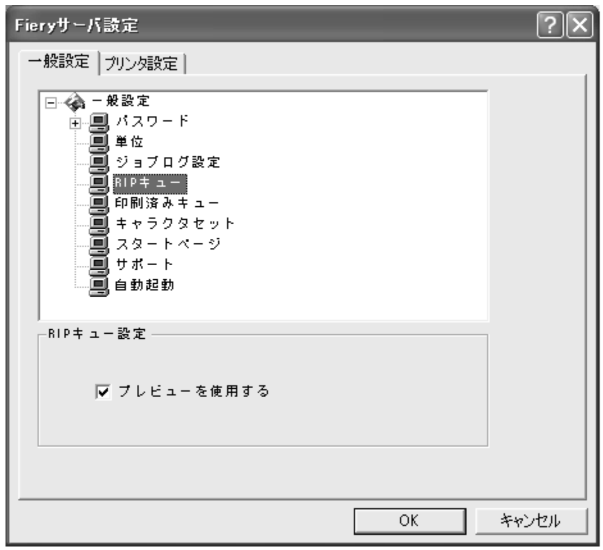


設定したいオプションを 1 回クリックします。例えば、「キャラクタセット」オプションを表示または変更したい場合、「キャラクタセット」を 1 回クリックしてください。設定可能なオプションが下のウィンドウに表示されます。

設定終了後、「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

一般設定

この画面からは、パスワード、ジョブログなど Fiery Spark Pro のシステム設定を行います。



パスワード　Fiery Spark Pro のシステム管理者およびオペレータパスワードを設定します。設定方法について詳細は、4-6 頁の「パスワード」を参照してください。

単位　「インチ」、「ミリメートル」、「ポイント」から選択できます。ここで指定した単位は、Fiery バーのプレビュー画面で表示されます。また、「プリンタ設定」の「用紙設定」と「ジョブ設定」の「デフォルトタイルサイズ」オプションに入力する際の単位もここで指定したものになります。

デフォルトは、「ポイント」です。

ジョブログ設定

Fiery Spark Pro のジョブログは、すべての処理済み・印刷済みジョブの記録です。この記録には Fiery Spark Pro で処理または印刷されたすべてのジョブが含まれます。ジョブログには各ジョブの利用者名、書類名、印刷日時、および印刷枚数などの課金情報が一覧表示されます。

デフォルトでは、ジョブログは自動的に印刷・消去されません。「ジョブログ設定」でデフォルト値を変更してください。

設定方法について詳細は、4-8 頁の「ジョブログ設定」を参照してください。

RIP キュー

Fiery バーからの RIP ジョブのプレビューを有効 / 無効にできます。デフォルトでは、RIP ジョブのプレビューは有効に設定されています。

印刷済みキュー

印刷済みキューは Fiery Spark Pro ディスク上に作成されます。このキューには印刷キューから印刷されたジョブが入ります。このキューがあると、印刷したジョブを再印刷する場合に便利です。このオプションでこのキューを使用可能にしたり、このキューに格納可能なジョブの最大数を指定します。ジョブの最大数としては、1-99 の数値が入力できますが、実際に保存できるジョブ数は Fiery Spark サーバのハードディスク容量によって決まります。

このキュー内のジョブを再印刷するためには Command WorkStation、Fiery WebSpooler、または Fiery Spooler が必要です。

デフォルトではこのオプションは有効に、印刷済みキューに保存するジョブ数は「10」に設定されています。

また、このオプションではプリントジョブのプレビューを有効 / 無効に設定できます。デフォルトでは、有効に設定されています。

キャラクタセット

Command WorkStation およびコントロールパネル上でのファイル名の表示に使用するキャラクタセットを「DOS」、「Macintosh」、「Windows」の中から選択します。この指定はファイル名にアクセント記号 (é, ü) が付いていたり、合成文字 (æ) が含まれている場合に重要です。

複数プラットフォームが混在するネットワークでは、大多数クライアントに対応するキャラクタセットを指定してください。

デフォルトは、「Macintosh」です。

スタートページ

Fiery Spark Pro 起動時に、スタートページを印刷するか否かを指定します。スタートページには Fiery Spark Pro 情報が表示されます。

デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。

サポート

本製品では、「サポート」オプションはサポートされていません。管理者名、電話番号、e-mail アドレスを入力できる欄がありますが、入力した情報はどこからも参照されません。

自動起動

このオプションを有効にすると、Fiery Spark サーバとして使用している Windows XP コンピュータを起動したときに Fiery Spark も自動的に起動します。無効にすると、Windows XP の起動後、手作業で Fiery Spark を起動する必要があります。

注意：Fiery Spark が起動していないときに Hot Folder にジョブをドラッグしても、ジョブは処理されません。

デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。

パスワード

ここでは、Fiery Spark Pro のパスワードの設定、変更、および削除を行います。

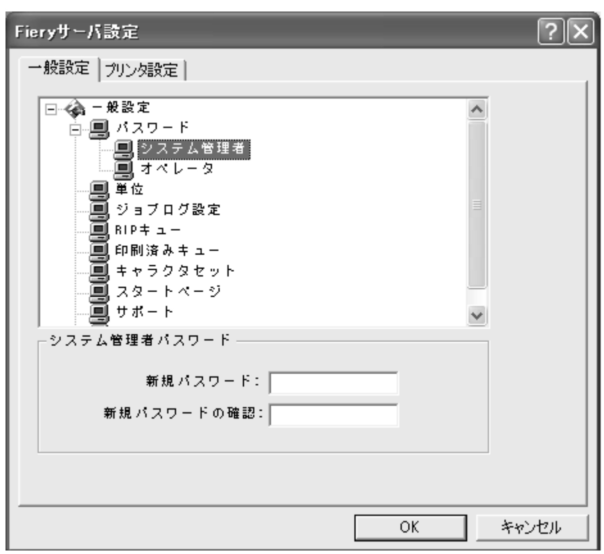
注意： ここで設定するパスワードは、Windows XP のパスワードとは異なります。

システム管理者 ジョブの管理を行えるだけでなく、Fiery Spark Pro サーバ設定を行える権利を持ちます。

オペレータ Command WorkStation や Fiery Spooler/Fiery WebSpooler を使用してジョブの管理を行います。

注意： Fiery Spark Pro パスワードの詳細については、3-5 頁を参照してください。

デフォルトでは、Fiery Spark Pro のパスワード設定はありません。パスワードが設定されていないと、Fiery Spark Pro サーバ設定 (パスワードの設定を含む) やサーバの初期化などの重要なシステム管理機能に誰でもアクセスできます。また、Command WorkStation/Fiery Spooler/Fiery WebSpooler を使用して、ジョブの操作を行うこともできます。Fiery Spark Pro の設定 / ジョブを保護するために、少なくともシステム管理者用パスワードを設定することを推奨します。



パスワードを変更するには：

1. **変更したいパスワード（「システム管理者」または「オペレータ」）を選択します。**
2. **「新規パスワード」欄および「新規パスワードの確認」欄にパスワードを入力します。**

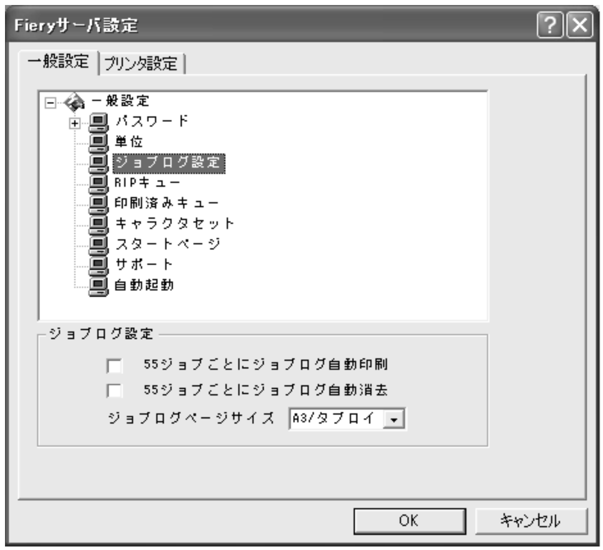
   パスワードには 19 字までの英字と数字のどのような組み合わせでも使用できます。設定方法は、システム管理者用もオペレータ用も同じです。

パスワードを消去するには：

1. **消去したいパスワード（「システム管理者」または「オペレータ」）を選択します。**
2. **「＊」を消去します。**

パスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡して Fiery Spark Pro システムソフトウェアを再インストールしてください。システムソフトウェアの再インストールにより、システム管理者用パスワードが消去され、新規パスワードを設定できます。

ジョブログ設定



55 ジョブごとにジョブログ自動印刷

55 ジョブごとに Fiery Spark Pro でジョブログを自動印刷するかどうか指定します。ジョブログには、Fiery Spark Pro から印刷されたジョブ 55 件の情報が一覧表示されます。これには、各ジョブの利用者名、書類名、印刷日時、頁数などの課金情報が含まれます。

デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。

55 ジョブごとにジョブログ自動消去

55 ジョブごとに Fiery Spark Pro でジョブログを自動消去するかどうか指定します。このオプションを選択しないと、印刷ジョブの保存数が増え続けます。ジョブログを保存したファイルは Fiery Spark Pro ハードディスクに保存されるので、ジョブログを消去するとディスク容量に空きができます。

注意：「55 ジョブごとにジョブログ自動印刷」で「いいえ」を選択した場合に、「55 ジョブごとにジョブログ自動消去」で「はい」を選択しても効力はありません。

ジョブログはまた、適宜消去することもできます。Command WorkStation の「サーバ：ジョブログの消去」アイコンをクリックしてください。また、Fiery Spark サーバ設定メニューから「サーバの初期化」を選択した場合も、ジョブログは消去されます。

デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。

ジョブログ用紙サイズ

ジョブログ印刷時の用紙サイズを選択します。

デフォルトでは、「A3/ タブロイド」です。

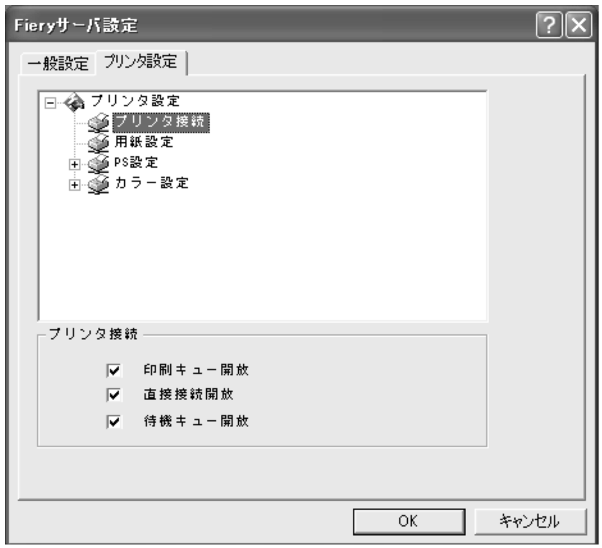
プリンタ設定

「プリンタ設定」タブを選択すると、次の設定ができます。

- プリンタ接続
- 用紙設定
- PS 設定
- カラー設定

プリンタ接続

直接接続、印刷キュー、待機キューを開放できます。



直接接続開放

このオプションを選択すると、一般ユーザが Fiery Spark Pro のキューを迂回して直接 Fiery Spark Pro へジョブを印刷（またはダウンロード）できるようになります。また、直接接続の開放により、一般ユーザが Fiery Spark Pro へプリンタフォントを ダウンロードまたは Fiery Spark Pro から削除できるようになります。直接接続で印刷されたジョブは印刷済みキューには格納されません。

注意：Fiery Spark Pro システムにフォントをダウンロードするには、このオプションを選択しておく必要があります。

デフォルトでは、直接接続は開放されています。

待機キュー開放

待機キューを開放すると、ユーザは Fiery Spark Pro の待機キューにジョブを送信（またはダウンロード）できるようになります。待機キュー内のジョブを印刷するには、Command WorkStation または Fiery Spooler/Fiery WebSpooler で、ジョブを待機キューから印刷キューに移動・コピーする必要があります。

Fiery ユーティリティを使用するには、待機キューを開放する必要があります。

デフォルトでは、待機キューは開放されています。

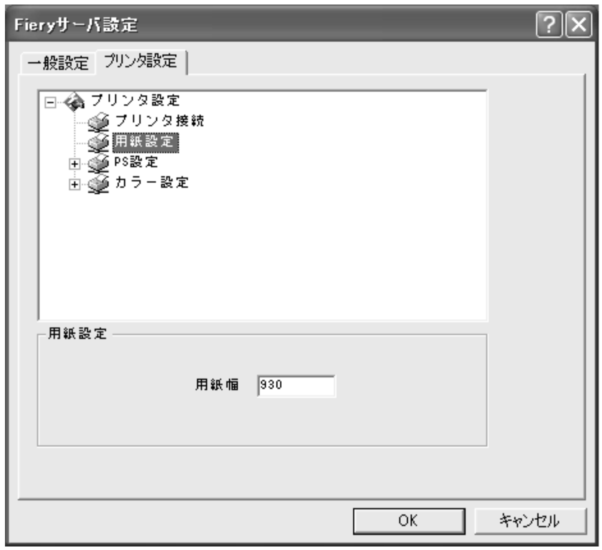
印刷キュー開放

このオプションを選択すると、一般ユーザが Fiery Spark Pro の印刷キューを使用してジョブを印刷できるようになります。印刷キューに送られたジョブは Fiery Spark Pro のハードディスク上に格納されます。

デフォルトでは、印刷キューは開放されています。

用紙設定

用紙設定オプションは、本製品ではサポートされていません。「用紙幅」に表示される数値は変更できますが、この数値は変更しないでください。



用紙幅

「用紙幅」として、デフォルトで「930」ポイントが表示されますが、この数値は変更しないでください。変更した場合、Fiery バーのプレビューが機能しなくなる場合があります。

なお、ここで表示される数値の単位は、「一般設定」の「単位」オプションで決定されます。「単位」オプションのデフォルトは「ポイント」であるため、「用紙幅」のデフォルトはポイントで表示されています。「単位」オプションが変更された場合、ここで表示される数値の単位も変更されます。

PS 設定

PS 設定メニューは「プリンタ設定」タブ内にあります。



カラーモード

デフォルトカラーモードの設定を行います。「カラー」を選択するとジョブはフルカラーで印刷されます。Fiery Spark Pro のキャリブレーションを行う場合は、事前に「カラー」を選択しておいてください。「グレースケール」を選択すると、カラーがすべてグレー調に変換されて印刷されます。

デフォルトは、「カラー」です。

デフォルト用紙サイズ

デフォルト用紙サイズを日本式（例 : A4、B4、A3）にするか、アメリカ式（例 : レター、リーガル、タブロイド）にするかを指定します。用紙サイズが指定されていないジョブが送信された場合、「日本式」が選択されていると A4 サイズが、「アメリカ式」のときにはレターサイズが適用されます。

デフォルトは、「日本式」です。

用紙変更

用紙サイズをデフォルト用紙サイズに自動的に変更するかどうかを指定します。たとえば、「A4/A3 -> レター / タブロイド」を選択した場合、A4 の書類はレターサイズの用紙に自動的に印刷されます。「いいえ」を選択すると、指定したサイズの用紙がセットされている場合にのみ印刷が行われます。

デフォルトは「いいえ」です。

PS エラー発生まで印刷

印刷ジョブ RIP 中に PostScript エラーが発生した際、RIP 中のページとエラーの内容を印刷するかどうかを指定します。「はい」を選択すると、エラー発生以前に RIP 処理された分とエラーの内容が印刷されます。「いいえ」を選択すると、RIP 中のページとエラーの内容は印刷されませんが、RIP 済みのページは印刷されます。

デフォルトは「いいえ」です。

プリンタフォントのダウンロード（インストール）時には必ず「いいえ」に設定してください。

平成角ゴシックに置換

使用可能でないフォントを、平成角ゴシック で代替するかを指定します。「いいえ」を選択すると、Fiery Spark Pro またはジョブを送ったワークステーション上で使用できないフォントが含まれているジョブが印刷されないことがあります。

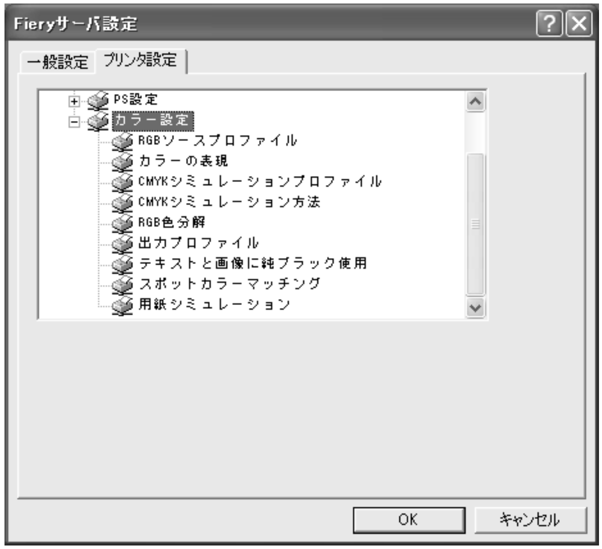
デフォルトは、「はい」です。

カラー設定

「カラー設定」では、印刷時のカラーオプションのデフォルト値を設定できます。ここで設定したデフォルト値は、ジョブ毎に変更可能です。次の２通りの変更方法があります。

- 印刷時にプリンタドライバで指定する
- 管理者またはオペレータが Command WorkStation、Fiery Spooler/Fiery WebSpooler を使用して設定を上書きする

カラー設定は、ColorWise Pro Tools の Profile Manager または Color Setup を使用して設定したデフォルトを使用することをお勧めします。ここでは、Fiery Spark サーバ設定で設定可能なオプションを紹介します。カラーオプションの詳細については、『印刷ガイド』および『カラーガイド』を参照してください。



RGB ソースプロファイル

RGB ソースプロファイルは、RGB データをプリントエンジンで出力可能な色の範囲に納まるよう変換する際に使用される色空間です。「EFIRGB」は Fiery Spark Pro 印刷に最適な RGB ソース空間です。「sRGB (PC)」は一般の Windows 対応コンピュータモニタ用です。「Apple 標準」は、Apple の ColorSync 用の標準色空間です。デフォルトソース空間を指定しない場合は、「なし」を選択します。

デフォルトは、「EFIRGB」です。

カラーの表現

デフォルト CRD (カラーの表現) を設定します。CRD は、RGB データをプリントエンジンで出力可能な色の範囲に納まるよう変換する際使用します。「連続調」は、カラー画像の全体的な調和感を維持するように相対的にカラー値を定めます。「ビジネスグラフィック」は、ビジネスプレゼンテーションなどで使用される明度および彩度の高い色の出力用で、カラー画像を「連続調」と同様にして処理します。「絶対カラーメトリック」では、RGB データを最も近い CMYK カラーで出力します。その際、モニターと紙の色の差異を考慮します。彩度の低い画像を正確に表現したいときに有効です。「相対カラーメトリック」は同様に RGB カラーを最も近い CMYK カラーで出力しますが、モニターと紙の色の差異は考慮しません。

デフォルトは「ビジネスグラフィック」です。

CMYK シミュレーションプロファイル

Fiery Spark Pro でオフセット印刷の校正を行う際のデフォルトシミュレーションターゲットを指定します。「DIC（EFI）」、「Japan Color」、「Toyo-Coated」、「EuroScale（EFI）」、「SWOP-Coated（EFI）」から選択できます。たとえば、「DIC（EFI）」を選択すると CMYK カラーが DIC 用に調整されます。デフォルトシミュレーションターゲットを指定しない場合は「なし」を選択します。ユーザが作成・定義するカスタムシミュレーションもデフォルトとして選択可能です。

デフォルトは、「DIC（EFI)」です。

CMYK シミュレーション方法

CMYK シミュレーションの処理方法を指定します。「クイック」、「フル（出力 GCR)」、「フル（ソース GCR)」から選択できます。

「クイック」シミュレーションでは 1 種類のトランスファー曲線を使用して、CMYK 各色の出力濃度のみを調整します。「フル（ソース）GCR」シミュレーションでは、色相調整用のカラーメトリック変換も行われるため、より正確なシミュレーションが適用されます。フル（ソース GCR) では、CMYK のうち K のみ完全に独立した色処理を行うため、K のみの文字やグラフィック等は K 単色で再現されます (墨版保持機能)。「フル（出力）GCR」シミュレーションでは、各カラーの出力濃度に加え、色相調整用のカラーメトリック変換が行われ、更に K 版情報がいったん CMY 版に組み込まれた後、出力プロファイルにより CMYK に分版されるので、一般的に「フル（ソース GCR)」より色再現精度が向上します。

デフォルトは「フル（ソース GCR)」です。

RGB 色分解

Fiery Spark Pro での RGB データ取り扱いを指定します。プリンタ用 CMYK 色空間で色分解する場合は「出力」を、特定シミュレーション用 CMYK 色空間で色分解する場合は「シミュレーション」を選択します。

デフォルトは「出力」です。

出力プロファイル

印刷に使用する用紙とスクリーンに合わせた出力プロファイルを指定します。「Fiery Epson Grad J Paper LP8800C v1F」と、「Fiery Epson Def J Paper LP8800 v1F」が用意されており、デフォルトは「Fiery Epson Grad J Paper LP8800C v1F」です。

また、ColorWise Pro Tools を使用してカスタムプロファイルを指定し Fiery Spark Pro にダウンロードすると、ここでカスタムプロファイルを選択できるようになります。選択できるプロファイル名について詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

テキストと画像に純ブラック使用

このオプションを「オン」に設定すると、黒のテキストやラインアートの印刷にブラックトナーのみが使用されます。「オフ」に設定すると、黒のテキストやラインアートの印刷に CMYK4 色のトナーが使用されます。詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

デフォルトは、「オン」です。

スポットカラーマッチング

このオプションを「オン」に設定すると、Fiery Spark Pro は、内蔵のカラー表を基に出力色に最も近い PANTONE カラーを使用して印刷を行います。「オフ」に設定すると、Fiery Spark Pro は、ファイル作成元のアプリケーションで設定された CMYK 値を使用して印刷を行います。詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

デフォルトは、「オン」です。

用紙シミュレーション

オリジナルの色空間内の白色点を、出力色空間で他色に変換して出力できます。例えば、ベージュ色の用紙に出力する場合、このオプションを「オン」に設定することで白色点はベージュ色で出力されます。

デフォルトは「オフ」です。

注：このオプションは、「CMYK シミュレーション方法」で「フル（出力 GCR）」が選択されていいる場合のみ有効になります。その他のオプション（例えば「フル（ソース GCR）」）が選択されている場合には、「用紙オプション」で「オン」を選択しても有効にはなりません。

サーバの初期化

「サーバの初期化」を実行すると、Fiery Spark Pro の印刷キュー、待機キュー、および印刷済みキュー内のすべての印刷ジョブが消去されます。また、現在のキャリブレーション設定とジョブログも同時に消去されます。ジョブログを保持するためには、「サーバの初期化」を実行する前にジョブログを印刷しておいてください。

注意： Hot Folder 内のジョブは削除されません。

「サーバの初期化」を実行するには、Fiery バーを右クリックし、「サーバの初期化」を選択してください。パスワードが設定されている場合、システム管理者パスワードの入力が必要です。

Fiery WebTools 設定

Fiery WebTools を使用すると、インターネットまたは社内イントラネットを介して、Fiery Spark Pro の各種機能へのアクセスやリモート管理が可能となります。Fiery WebTools は、Windows および Mac OS 対応コンピュータから使用可能です。

ワークステーションで Fiery WebTools 設定を行うには :

1. **TCP/IP ネットワークを使用可能にします。**
2. **ワークステーション用の有効 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス（必要な場合）があることを確認してください。**
3. **Java 対応のインターネットブラウザがインストールされ、Java が有効になっていることを確認してください。**

   サポートされているブラウザ並びに Fiery WebTools の動作環境に関しては『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。

ワークステーションから Fiery WebTools にアクセスするには :

1. **インターネットブラウザを起動します。**
2. **Fiery Spark Pro の IP アドレスまたは DNS 名を入力し「Enter」キーまたは「return」キーを押します。**
3. **パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して 「OK」をクリックします。**

   Fiery WebTools メイン画面が現れます。
4. **「構成」をクリックすると、各 Fiery WebTools を一般ユーザ対象に使用可能にするかどうか設定できます。**

WebLink アドレスの設定

WebLink アドレスは変更可能です。システム管理者用パスワードが設定されている場合は、アドレス変更にはシステム管理者用パスワードが必要です。

WebLink アドレスを変更するには :

1. **インターネットブラウザを起動します。**
2. **Fiery Spark Pro の IP アドレスまたは DNS 名を入力し「Enter」キーまたは「return」キーを押します。**
3. **パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して 「OK」をクリックします。**

   Fiery WebTools メイン画面が現れます。
4. **Ctrl キー を押しながら、「WebLink」ボタンをクリックします。**

   「WebLink の更新」ダイアログボックスが現れます。
5. **WebLink アドレス （URL）を入力し 「OK」をクリックします。**

サーバの再起動

Fiery Spark Pro サーバ設定で設定を変更した後は、変更を有効にするため Fiery Spark Pro を再起動する必要があります。

第 5 章：
ネットワークサーバの設定

本章では、クライアントコンピュータから Fiery Spark Pro サーバに印刷するためのネットワークサーバ設定について説明します。また、ネットワークサーバを使用してないネットワークでの Windows 2000/XP ワークステーションや UNIX ワークステーションと Fiery Spark Pro との直接交信方法について説明します。

TCP/IP 使用の Windows ネットワーク上の Fiery Spark Pro

Windows 2000/XP コンピュータが、TCP/IP を使用して Fiery Spark Pro に接続するように構築されている場合は、このコンピュータから直接 Fiery Spark Pro に印刷します。また、ネットワーク上でプリンタを共有する場合は、このコンピュータが Windows クライアントのプリントサーバとなります。クライアントコンピュータがこの Windows プリントサーバへ印刷命令を出すと、Fiery Spark Pro で印刷が行われます。Windows サーバがこの印刷の監視と管理を行います。

典型的な Windows ネットワーク環境は次のようになります。

- Windows 2000 サーバーがプリントサーバの役割を果たし、Windows クライアントからの印刷ジョブを Fiery Spark Pro に送信

注意： Windows 2000/XP クライアントからは、Fiery Spark Pro に直接印刷することもできます。

- Windows 2000/XPワークステーションがプリントサーバの役割を果たし、Windows 98/Me クライアントからの印刷ジョブを Fiery Spark Pro に送信

TCP/IP プロトコルがロードされている場合は、Windows 対応コンピュータで Fiery ユーティリティと Fiery WebTools を使用できます。

TCP/IP 使用の Windows ネットワーク管理者向け情報

Windows 2000 プリントサーバで TCP/IP ネットワーク接続を設定する場合、次の事項に注意してください。

- Fiery Spark Pro や、Fiery Spark Pro に印刷したり Fiery ユーティリティを使用するワークステーションが、有効なIPアドレスを持っていることを確認してください。
- Fiery Spark Proサーバとなる Windows XP 対応コンピュータでTCP/IPを使用可能にし有効な IP アドレスを入力します。ゲートウェイアドレスやサブネットマスクも入力します。

  DHCP、RARP、BOOTP プロトコルにより、自動的にアドレスを取得することもできます。
- システムのDNSやホスト名ファイルにFiery Spark Proサーバとなる Windows XP 対応コンピュータの名前やアドレスが正しく登録されていることを確認してください。
- Windows 2000 では、Microsoft PostScriptプリンタドライバと Fiery Spark Pro 用のプリンタ記述ファイルを Windows 2000 サーバにインストールします（『ユーザソフトウェアインストールガイド』参照）。これで、Windows 2000/XP クライアントから Windows 2000 サーバを経由して印刷できます。

  詳細は、マイクロソフト社製 Windows 2000/XP オペレーティングシステムの取扱説明書を参照してください。

Windows プリントサーバでの Fiery Spark Pro 印刷用設定

Fiery Spark Pro サーバと通信するには次の手順で Windows プリント サーバを構築します。詳細は次項を参照してください。

- Fiery Spark Pro サーバ（またはFiery Spark Pro サーバとして使用する Windows XP コンピュータ）を TCP/IP ネットワークに追加（5-3 頁「TCP/IP ネットワークへの Fiery Spark Pro サーバの追加」参照）
- Windows ドメイン内で Fiery Spark Pro サーバを使用する場合、Fiery Spark Pro サーバを Windows ドメインに追加（5-4 頁「Windows ドメインへの Fiery Spark Pro の追加」参照）

- Windows プリントサーバで各Fiery Spark Proキューごとにプリンタを作成し、必要な場合は、PostScript プリンタドライバをインストールし、ネットワーク上でのプリンタ共有設定を実行（5-5 頁「Fiery Spark Pro を共有 PostScript プリンタとしてインストール」参照）
- Windows プリントサーバがワークステーションでもある場合、Fiery ユーティリティをインストール（『ユーザソフトウェアインストールガイド』参照）

TCP/IP ネットワークへの Fiery Spark Pro サーバの追加

TCP/IP ネットワークが Windows サーバと Windows 2000/XP クライアントから構成されている場合は、以下の説明を参照してください。ネットワークに UNIX ワークステーションが含まれている場合は 5-9 頁の説明も併せて参照してください。

Fiery Spark Pro サーバを Windows サーバを有する TCP/IP ネットワークに追加するには：

1. **使用しているシステムのホスト名ファイルに Fiery Spark Pro の IP アドレスを登録します。**

   ネットワーク管理者が不在または集中ホスト名ファイルが存在しない場合は、Windows サーバ上の「hosts」ファイルに Fiery Spark Pro を登録します。また、TCP/IP をインストール済みで Fiery ユーティリティを使用予定のすべてのワークステーション上の「hosts」ファイルに Fiery Spark Pro を登録します。

   Windows の「hosts」ファイルは UNIX の「hosts」ファイルと互換性があります。「hosts」ファイルはローカルのドメイン名サービス（DNS）の役割をし、UNIX サーバ上の「/etc/hosts」ファイルと同じフォーマットです。

   入力例：

   IPアドレス<TAB>Fiery Spark Pro サーバとなるWindows XP コンピュータ名 <TAB>#コメント

   <TAB> は「Tab」キーを押すことを意味します。

   IP アドレスは、設定情報ページで確認できます。設定情報ページは、Command WorkStation から印刷できます。

   注意： すでに Fiery Spark Pro が「/etc/hosts」ファイルあるいはUNIX ワークステーション上の同等のホスト名ファイルで定義済みの場合は、リモートプリンタのホスト名として /etc/printcap ファイル内で定義済みの名前を使用することを推奨します。

2. **このファイルを「hosts」という名前で保存します。**

Windows ドメインへの Fiery Spark Pro の追加

Fiery Spark Pro サーバを Windows ドメイン内のユーザおよびドメインへのアクセス権を持っているユーザから使用可能にするには、Fiery Spark Pro をドメインに追加する必要があります。次の手順に従ってください。

注意： この作業を行わない場合、ワークステーションから Fiery Spark Pro のキューを選択したときにパスワードの入力を求められます。Administrator 以外のユーザ名でログインしている場合、パスワードを入力しても Fiery Spark Pro を使用できません。

注意： Fiery Spark Pro をワークグループで使用する場合、下記作業は必要ありません。

1. **Windows サーバに Administrator としてログオンします。**

2. **「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム : 管理ツール : サーバーマネージャ」を選択し、サーバーマネージャを起動してください。**

   「サーバーマネージャ」画面が表示されます。

3. **「コンピュータ : ドメインの選択」を選択します。**

   「ドメインの選択」画面が表示されます。

4. **「ドメインの選択」一覧から、Fiery Spark Pro を追加するドメインを選択します。**

   ドメイン内にあるコンピュータの一覧が表示されます。

5. **「コンピュータ : ドメインに追加」を選択します。**

   「コンピュータをドメインに追加」画面が表示されます。

6. **コンピュータ名に Fiery Spark Pro のサーバ名を追加します。**

   これでドメイン内のユーザおよびドメインへのアクセス権を持っているユーザから Fiery Spark Pro が使用できるようになります。

   注意： 他ドメインのユーザが Fiery Spark Pro にアクセスするには、Windows サーバ上でドメイン間の信頼関係を設定する必要があります。詳細は、Microsoft Windows の取扱説明書を参照してください。

   注意： Fiery Spark Pro をドメインに追加後、ネットワーク上で使用可能になるには数分かかることがあります。

Fiery Spark Pro を共有 PostScript プリンタとしてインストール

プリンタ作成時にはまず、ユーザソフトウェア CD に含まれる AdobePS プリンタドライバをインストールします。これによりアプリケーションがプリンタのオプションにアクセスできるようになります。ワークステーションから Fiery Spark Pro に直接かつ個々に印刷する場合のインストール方法に関しては『ユーザソフトウェアインストールガイド』に説明があります。このとき、プリンタを共有可能に設定すると、Fiery Spark Pro に独立したネットワーク接続を持てないか許可されていないクライアントからも Fiery Spark Pro サーバに印刷することができるようになります。

プリンタの共有設定は、Fiery Spark Pro 用プリンタ ファイルのインストール時に行うことができます。Windows サーバに Fiery Spark Pro用プリンタ記述ファイル（PPD）をまだインストールしていない場合は、ここでインストールしてください（『ユーザソフトウェアインストールガイド』参照）。Fiery Spark Pro のプリンタ記述ファイルのインストール中に Fiery Spark Pro の共有設定に必要な情報を入力します。

すでに Fiery Spark Pro のプリンタ記述ファイルが Windows プリントサーバ用のコンピュータにインストールされている場合、Windows の取扱説明書を参照して Fiery Spark Pro の共有設定を行ってください。

印刷キューおよび待機キューが使用可能な場合、両方のキュー用のプリンタを作成することができます。プリンタ名を指定するように促されたら、キューの種類（印刷または待機）を判別しやすい名前で入力します。

Windows 2000/XP クライアントでの印刷設定

Windows サーバや Windows 2000/XP ワークステーション コンピュータ上で Fiery Spark Pro が共有設定されている場合、各クライアントはこれらのコンピュータ経由で Fiery Spark Pro に印刷できます。この場合、クライアントは Windows サーバとの通信に、サーバと Fiery Spark Pro 間で使用されているのと同じネットワークプロトコルを使用する必要はありません。

Windows サーバで共有設定された Fiery Spark Pro に接続し印刷するには：

1. **印刷前に：**

   Windows クライアントからプリントサーバに接続し、Fiery Spark Pro を選択します。右クリックして、ポップアップメニューから「開く」を選びます。

   Windows がプリンタ設定を行います。

2. **クライアントでプリンタ選択後：**

   アプリケーションの「プリント（印刷）設定」、「ページ（用紙）設定」または「プリント（印刷）」ダイアログボックスからプリンタを選択できます。クライアントは自分の印刷ジョブ用の印刷オプションを変更することはできますが、プリンタのプロパティを変更することはできません。クライアントが「プリント（印刷）」を実行すると、印刷ジョブは Windows プリントサーバに送られ、そこから Fiery Spark Pro の指定キューへ転送されます。印刷ジョブはクライアントワークステーションの「プリントマネージャ」に表示されます。管理者は Windows プリントサーバの「プリントマネージャ」内の「Fiery Spark Pro」画面で印刷ジョブの一覧を見ることができます。

Windows ピアツーピアネットワークでの印刷設定

Windowsクライアントだけで構成された Windowsピアツーピアネットワーク環境でも、Fiery Spark Pro に印刷することができます。この印刷方法を、Windows 印刷または SMB 印刷と称します。SMB は、Windows 対応コンピュータでファイルやプリンタを共有可能にする Windows 内蔵のプロトコルです。

ここでは、Windows ピアツーピアネットワーク環境での Fiery Spark Pro 印刷設定について説明します。詳細については Microsoft Windows の取扱説明書を参照してください。

Windows ピアツーピアネットワークから Fiery Spark Pro に接続し印刷するには：

- 設定開始前に：

Fiery Spark Pro サーバとして使用する Windows XP 対応コンピュータの「スタート」メニューから「コントロールパネル：システム」を選択します。「ネットワーク ID」をクリックして、「フルコンピュータ名」と「ワークグループ」名を確認します。

1. ワークステーションで TCP/IP プロトコルを設定します。

設定方法については、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。Windows 98/Me のみの環境の場合、「Microsoft ネットワーククライアント」も設定します。

2. コントロールパネルで「ネットワーク」をダブルクリックし、「ネットワーク」ダイアログボックスで「識別情報」タブをクリックします。

「ワークグループ」が、Fiery Spark Pro サーバのそれと一致していることを確認してください。

3. Windows 98/ME のみの環境の場合、「ネットワーク」ダイアログボックスの「ネットワークの設定」タブで「ファイルとプリンタの共有」をクリックして「ファイルを共有できるようにする」を選択し「OK」をクリックします。

4. Win 98/ME をブラウズマスタにするには、「Microsoft ネットワーク共有サービス」のプロパティの「詳細設定」を次のように設定します。

- LM アナウンス ：はい
- ブラウズマスタ ：自動 または 有効

設定終了後コンピュータを再起動します。

5. ワークステーションから Ping コマンドを実行し、Fiery Spark Pro との接続を確認します。

UNIX ワークステーションでの Fiery Spark Pro 使用

UNIX ワークステーションを lpd プロトコルを使用できるように構築し、TCP/IP が使用可能な Fiery Spark Pro に接続すると、ユーザはこのワークステーションから直接 Fiery Spark Pro に印刷できるようになります。

UNIX ワークステーションでの設定作業は、root 権利を持った UNIX 管理者が行ってください。設定後、UNIX ユーザは（IP アドレスではなく）プリンタ名を指定するだけで印刷が行えるようになります。

Fiery ユーティリティおよび Fiery WebTools は現在 UNIX プラットフォーム上では利用できません。UNIX ワークステーションと同じネットワーク上に、TCP/IP を介して Fiery Spark Pro へ印刷できるよう設定されている Mac OS または Windows 対応コンピュータがある場合は、それらのコンピュータから Fiery WebSpooler や Fiery ユーティリティを使用してネットワークの全ワークステーションから送られた印刷ジョブを管理することが可能です。

UNIX ワークステーション管理者向け情報

UNIX 環境での Fiery Spark Pro の設定は他のプリンタやデバイスを設定するのと同じ手順で行います。

- Fiery Spark Pro およびネットワーク上の各ワークステーション用に認可された IP アドレスが必要です。
- IP アドレスに対応する Fiery Spark Pro 名を定義します。
- Fiery Spark Pro 用 IP アドレスをネットワークのホスト名ファイルおよび Fiery Spark Pro に登録しておく必要があります。
- 印刷キュー（print）と待機キュー（hold）のどちらかまたは両方を開放する必要があります。

次の 2 項目は Fiery Spark Pro 特有です。

- Fiery Spark Pro は lpd プロトコルをサポートする PostScript プリンタコントローラです。

- Fiery Spark Pro は独自のリモートプリンタ名（システム内部名）を持ちます。この名前は前もって決められています。

  詳細は、次項を参照してください。

重要事項：リモートプリンタ名

UNIX システムで、Fiery Spark Pro を設定する際に使用するリモートプリンタ名（/etc/printcap ファイルの rp 行）は次のいずれかの形式を取ります。

print
hold

プリンタのリモートプリンタ（rp）名は、この他 Windows 2000 ワークステーション / サーバまたは Windows XP クライアントを、TCP/IP を介して Fiery Spark Pro に接続するよう設定する場合に必要です。

この名前は、クライアントでの Windows プリンタ設定時、「LPR 互換プリンタの追加」ダイアログボックスの 2 行目のプリンタ名欄に入力します（『ユーザソフトウェアインストールガイド』参照）。

TCP/IP ネットワーク上での Fiery Spark Pro 設定

TCP/IP ネットワーク上のすべてのデバイス（ホスト）は、Fiery Spark Pro も含めて、各々独自の 32 ビットのインターネットアドレス（IP アドレス）を持つ必要があります。IP アドレス取得についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

TCP/IP 上のワークステーションはリモートプリンタ扱いで Fiery Spark Pro に直接印刷できますし、プリントサーバの役割を持つ Windows サーバ（TCP/IP 使用）または UNIX ワークステーションに印刷ジョブを送ることもできます。

Fiery Spark Pro で UNIX システム用設定を行うには：

1. **Fiery Spark Pro サーバ設定の「一般設定」で該当する設定を行います。**

   Fiery Spark Pro サーバ設定に関しては 4-3 頁以降を参照してください。

2. Windows XP のネットワーク設定を行います。

   Fiery Spark Pro 用の有効な IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。詳細は、『インストールガイド』を参照してください。

3. **Fiery Spark Pro「プリンタ設定」で該当する設定を行います。**

   注意： 印刷キューと待機キューの両方またはどちらかを開放してください。

Fiery Spark Pro と通信できるように TCP/IP を設定するには：

1. **スーパーユーザ（root でログイン）がネットワークの IP ホストテーブルまたは他のネットワークプリンタ用システムデータベースに Fiery Spark Pro を登録します。**

2. **ネットワークで使用するファイルまたはユーティリティの中で、Fiery Spark Pro 用のリモートプリンタ名、プリントサーバプロトコル、キューおよびスプールファイルを指定します。**

3. **ネットワーク上の全ユーザに Fiery Spark Pro がプリンタとして利用可能になったことを知らせます。**

4. **TCP/IP 接続を確認するため、Fiery Spark Pro の IP アドレスまたはホスト名を使用して「ping」コマンドを実行します。このコマンドはネットワーク上のどのコンピュータからでも実行可能です。**

   入力例：

   ping <IP アドレス > ...

   <IP アドレス > には、Fiery Spark Pro の「ネットワーク設定」で割り当てた Fiery Spark Pro 用の IP アドレスを入力します。

   ネットワークプリンタとして Fiery Spark Pro を設定した後では、Fiery Spark Pro のホスト名を使用することも可能です。

   ping ホスト名

   サーバは次のようなメッセージを応答します。

   <IP アドレス > is alive.　（<IP アドレス > はアクティブです。）

システムによってはIPアドレスからの出力を連続的に表示するような応答のしかたをします。この表示を中止するためには、「Control」キーと「C」を同時に押してください。「ping」コマンドは随時使用できます。

Fiery Spark Pro に印刷するには：

- SunOS などの BSD 版 UNIX システム上では lpr コマンドを使って印刷ジョブを Fiery Spark Pro に送ります。
- Solaris などSystem V タイプのUNIXシステムの場合はlpコマンドを使ってFiery Spark Pro に印刷ジョブを送ります。

印刷ジョブの管理

UNIX ネットワーク管理者は UNIX 用コマンドを使用して UNIX サーバにスプールされているジョブの表示、印刷、および削除が可能です。TCP/IP プロトコルをロードした Windows 2000/XP ワークステーションが同一ネットワークにある場合は、Command WorkStation や Fiery ユーティリティを使用してフォントやファイルのダウンロードが可能です。

Command WorkStation、Fiery Spooler および Fiery WebSpooler は、リモートワークステーションからの印刷、ジョブ管理に使用することもできます。詳細は、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

第 6 章：
Fiery Spark Pro の管理

本章ではFiery Spark Pro印刷の管理とトラブルシューティングに関して説明します。

Fiery Spark Pro 印刷の管理機能

Fiery Spark Pro 印刷の管理機能にはユーザソフトウェアパッケージに含まれているものと、Fiery Spark Pro に組み込まれているものとがあります。これらの機能に関する記述箇所を以下に記載します。

作業	作業内容	参照先
ネットワークサーバの設定	印刷サービスの管理と共有のためのサーバ設定	第 5 章
Fiery Spark Pro のインストール	Fiery Spark Pro を Windows XP コンピュータにインストールし、プリンタに接続	『Fiery Spark PRO インストールガイド』
Fiery Spark Pro の接続と設定	Fiery Spark Pro サーバ設定	第 4 章
ジョブ環境の設定	直接接続、印刷キュー、待機キューを多様なプラットフォーム上のユーザに開放	4-10 頁の「プリンタ設定」
印刷ジョブや Fiery Spark Pro 設定のセキュリティ管理	システム管理者用パスワードの設定	4-6 頁の「パスワード」

作業	作業内容	参照先
新規ユーザ用設定	PostScript プリンタドライバのインストールや Fiery Spark Pro 用プリンタ記述ファイルのインストールなどの印刷設定 ユーザソフトウェアのインストール（必要な場合のみ） カラー参照ページのインストール（CMYK、RGB、PANTONE） Fiery WebTools アクセス準備	『ユーザソフトウェアインストールガイド』、
印刷	Fiery Spark Pro への印刷、印刷ジョブに特有なオプションの設定 Fiery ユーティリティの実行	『印刷ガイド』 『ジョブ管理ガイド』
ジョブフローの管理	Command WorkStation、Fiery WebSpooler や Fiery ユーティリティを使用したジョブの優先順位管理、トラッキング、キャンセル、待機キュー内のジョブの印刷、印刷済みキューや待機キューからの再印刷	『ジョブ管理ガイド』、
印刷ジョブの課金管理	ジョブログや注釈の表示、印刷、エクスポート ジョブログの自動印刷と自動消去設定	『ジョブ管理ガイド』、4-8 頁
キャリブレーションとカラー管理	CMYK シミュレーションの実行、および Fiery Spark Pro のキャリブレーション カラー表の印刷、Photoshop 用色分解テーブル、およびモニタ設定ファイルのインストール	『カラーガイド』 『カラーガイド』、『ユーザソフトウェアインストールガイド』
Fiery Spark Pro の最適性能の維持	必要事項 ジョブの削除やキューの消去	6-3 頁 『ジョブ管理ガイド』
トラブルシューティング	Fiery Spark Pro「設定」に関するトラブルシューティング 印刷、プリンタ、ユーザソフトウェアに関するトラブルシューティング	6-4 頁 『印刷ガイド』 『ジョブ管理ガイド』

Fiery Spark Pro の最適性能の維持

プリントシステムでは、通常はプリンタ用の定期点検や保守あるいは消耗品の再注文などを行う必要があります。これ以外に、システムの性能を維持するために次の事項を実行することをおすすめします。

- ネットワーク接続を最大限に活用していることを確認

  必要なプリント接続のみをユーザに開放してください。Fiery Spark Pro は開放されている接続を定期的にチェックしますので、接続が非アクティブな場合無駄が生じます。設定情報ページを印刷して開放されているプリント接続を点検し、実際に使われていない接続を解除してください。プリント接続の再開放は簡単に行えます。

- 急ぎでない印刷ジョブを、ネットワークやプリンタ使用量が少ない時に処理

  反復印刷ジョブや急ぎでないジョブには待機キューの使用をおすすめします。プリンタの使用量が少ないときに、システム管理者やオペレータが、Command WorkStation、Fiery WebSpooler や Fiery Spooler を使用して待機キュー内の全印刷ジョブを印刷キューに移して印刷するようにすると、プリンタの利便性が上がります。

- 不必要な双方向通信の削減

  多数のリモートユーザが Fiery ユーティリティを使用している場合、特に頻繁に更新を行うと、Fiery Spark Pro の処理速度が低下します。

- Fiery Spark Pro ハードディスクの空き容量管理

  待機キューや印刷済みキュー内のジョブ数を定期的に点検してください。

  印刷済みキューや待機キュー内のジョブの印刷や削除が可能なので、不必要なジョブを印刷してしまうか、外すことを考慮してください。Fiery Spark Pro の空きディスク容量が頻繁に少なくなる場合は、印刷済みキューを使用しないよう「一般設定」で、または待機キューを開放しないように「プリンタ設定」で設定できます。

  キュー内のジョブを移動または削除するには Command WorkStation、Fiery Spooler または Fiery WebSpooler を使います。不要なジョブを削除してディスクの空き容量を増やすと、ジョブのスプールや印刷の速度が上がります。

Fiery Spark Pro のトラブルシューティング

Fiery Spark Pro サーバの Fiery バーにエラーメッセージが表示されたり、Fiery Spark Pro が「使用可能」状態にならない場合は担当サービス店にお問い合わせください。

実行時のエラーメッセージ

「ディスクが一杯です。」に関しては『ジョブ管理ガイド』を参照してください。このメッセージは Fiery バー、Command WorkStation、または Fiery WebSpooler/Fiery Spooler に表示されます。

PostScript エラーに関しては、PostScript レベル 2 または PostScript3 ドライバ使用の Mac OS アプリケーションのプリントオプションで、エラー内容を印刷するかどうか選択できます。また「PS 設定」の「PS エラー発生まで印刷」でも選択可能です。

「プリンタの準備ができていません。」メッセージが表示されている

Fiery バーに表示されるこのメッセージは Fiery Spark Pro とプリンタ間のインターフェイスケーブルが接続されていないか、プリンタの電源が入っていないことを意味します。

「プリンタ使用中」メッセージが表示されている

Fiery バーに表示されるこのメッセージは、プリンタが印刷中か、トナーまたは用紙切れのためジョブの処理ができないことを示します。

Fiery ユーティリティから Fiery Spark Pro に接続できない

Fiery Spark Pro に接続できない場合は次の点を確認してください。

- クライアントワークステーション：適切なネットワークプロトコルがロードされ、Windows フォルダに構成済みの「Efinl.ini」ファイルが含まれていることを確認してください。

Command WorkStation から Fiery Spark Pro に接続できない

Fiery Spark Pro に接続できない理由としては次が考えられます。

- Fiery Spark Pro が再起動中。
- サーバの IP アドレスなどが変更された。

この場合、次を実行してみてください。

- Command WorkStation を再起動する。
- Command WorkStation の接続構成を確認し、必要であれば設定を変更する。

  接続構成の変更方法については、『ユーザソフトウェアインストールガイド』を参照してください。
- Fiery Spark Pro を再起動する。
- 他のワークステーションから Fiery ユーティリティまたは Fiery WebTools で Fiery Spark Pro に接続している場合、ワークステーションからの接続を切断する。

フォントのバックアップと復帰方法

Fiery Spark Pro では Fiery Downloader を使用して Windows 対応コンピュータにフォントをバックアップすることができます。この機能は、同一 Fiery Spark Pro システムバージョンにおいてのみ有効です。システムのバージョンアップ後に Fiery Spark Pro 内蔵ハードディスクにフォントを復帰させることはできません。

注意： 追加したフォントの総容量が 2GB を越える場合、バックアップに使用する Windows コンピュータには NTFS ファイルフォーマットの HDD を搭載した Windows 2000/XP コンピュータの使用をお勧めします。

この機能の誤使用を避けるために、必ずシステム管理者用パスワードを設定しておいてください。システム管理者用パスワードを設定しておくと、この機能を選択したときに、パスワードの入力を促されます。

Fiery Spark Pro のフォントをバックアップするには次の手順で行ってください。システム管理者用パスワードが設定されているものとして説明します。

フォントのバックアップを行うには：

1. **Fiery Spark Pro が「使用可能」状態で、データの送受信もないことを確認しま**す。
2. **Fiery Downloader を起動します。**
3. **「ファイル」メニューから「フォント保存」を選択します。**
4. **システム管理者用パスワードを入力します。**
5. **保存先のフォルダを指定し、「開く」をクリックし、「このフォルダを選択」をクリックします。**

   Fiery Downloader がフォントのバックアップ処理を始め、進行状況バーが表示されます。バックアップ処理が終了すると、メッセージが表示されます。
6. **「OK」をクリックします。**

フォント復帰

フォントを Fiery Spark Pro のハードディスクに戻すには次の手順で行ってください。(システム管理者用パスワードが設定されているものとして説明します。)

フォントの復帰を行うには：

1. **Fiery Spark Pro が「使用可能」状態で、データの送受信もないことを確認します。**

2. **Fiery Downloader を起動します。**

3. **「ファイル」メニューから「フォント復帰」を選択後、システム管理者用パスワードを入力します。**

4. **保存先のフォルダを指定し、「開く」をクリックし、「このフォルダを選択」をクリックします。**

   復帰処理確認のメッセージが表示されます。

5. **「OK」をクリックします。**

   Fiery Downloader がフォントの復帰処理を始め、進行状況バーが表示されます。復帰処理が終了すると、Fiery Spark Pro を再起動するようにというメッセージが表示されます。

6. **「OK」をクリックします。**

7. **Fiery Spark Pro を再起動します。**

   Fiery Spark Pro 再起動後にフォント一覧を印刷して（『印刷ガイド』参照）、フォントが正しく戻されたことを確認してください。

Adobe Illustrator からの印刷

Fiery Spark Pro は、平成角ゴシックと平成明朝フォントを提供しています。Adobe Illustrator から中ゴシック BBB およびリュウミンフォントを使用した文書を Fiery Spark Pro に印刷すると、中ゴシック BBB フォントは平成角ゴシックに、リュウミンフォントは平成明朝に置き換えられて印刷されます。

平成フォントではなく、中ゴシック BBB およびリュウミンフォントで印刷したい場合、次の手順に従ってください。

中ゴシック BBB およびリュウミンフォントでの印刷

中ゴシック BBB およびリュウミンフォントで印刷するには：

1. **Adobe Illustrator で、「フォントをダウンロードする」が選択されていることを確認します。**
2. **Fiery Spark Pro がインストールされている Windows XP コンピュータでコマンドプロンプトを開きます。**

   Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム：アクセサリ：コマンドプロンプト」を選択します。

3. **\efi\server\tools\ フォルダに移動し、次のコマンドを入力します。**

   C:\efi\server\tools>RemoveFonts.exe

4. **コマンドが正しく実行されたことを確認するため、次のコマンドを実行します。**

   C:\efi\server\tools>CheckCompatibleFonts.exe

   「Compatible Font has been installed.」メッセージが表示されることを確認してください。

5. **Fiery Spark Pro がインストールされている Windows XP コンピュータを再起動します。**

   これで ATM フォントを使用した印刷が可能になります。

中ゴシック BBB およびリュウミンフォントでの印刷解除

中ゴシック BBB およびリュウミンフォントを使用した文書の印刷が終了したら、平成フォントでの印刷が再度可能になるよう Fiery Spark Pro を設定します。次の手順に従ってください。

中ゴシック BBB およびリュウミン フォントでの印刷を解除するには：

1. **Fiery Spark Proがインストールされている Windows XP コンピュータでコマンドプロンプトを開きます。**

   Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム：アクセサリ：コマンドプロンプト」を選択します。

2. **\efi\server\tools\ フォルダに移動し、次のコマンドを入力します。**

   C:\efi\server\tools>RestoreFonts.exe

3. **コマンドが正しく実行されたことを確認するため、次のコマンドを実行します。**

   C:\efi\server\tools>CheckCompatibleFonts.exe

   「Compatible Font is installed.」メッセージが表示されることを確認してください。

4. **Fiery Spark Proがインストールされている Windows XP コンピュータを再起動します。**

   再起動後、平成フォントでの印刷が可能です。

索引

注意：{ オプション }付き項目は、Fiery Spark Pro「設定」時に表示される設定メニュー、オプションまたはオプション選択項目です。